ライオン誌（毎月20日発行）第56巻第11号 2014年4月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION

IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

WWW.THELION-MAG.JP MAY 2014

5

今月のTHEME

資金獲得事業

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書／ライオンズ文庫

●ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。

新書判 224ページ 1部500円･送料実費
※50部以上ご注文の場合、送料無料
（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引
100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

●ライオンズ新書02 LCIF早分かり

ライオンズクラブ国際財団の目的やその仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 176ページ 1部400円･送料実費
※50部以上ご注文の場合、送料無料
（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引
100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

●ライオニズムよ永遠に

ライオンズクラブの創設者メルビン･ジョーンズの生涯を時代と共に活写した労作。

B6判 224ページ 1部800円･送料実費

●ウィ･サーブ

日本にライオンズクラブが誕生した1952年から2002年まで、日本ライオンズ50年間の歴史。

B6判 332ページ 1部800円･送料実費

●『ライオン誌』創刊号復刻版

1958年創刊の『ライオン誌』日本語版を復刻。誌面から草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

B5判 68ページ 1部300円･送料実費

ライオンズスクール･シリーズ

●初級編･ライオンズクラブ入門

第3版第4刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円･送料実費

●中級編･クラブ運営の基礎知識

第3版第3刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ･ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円･送料実費

●上級編･リーダーシップを養う

第1版第5刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円･送料実費

※ライオンズスクール･シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■お申し込みは巻末の注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。

LION MAGAZINE IN JAPAN
May 2014, Vol.56 No.11

We Serve CONTENTS

■2014年5月号
表紙
熊本県小国町
鍋ケ滝
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President

Barry J. Palmer
Your Lions Clubs
International President

ライオンズは不可能の壁を超える

1954年、イギリスの無名の医学生、25歳のロジャー・バニスターは1マイル（約1.6キロ）を4分以内で走って歴史を塗り替えました。それは優れた選手たちが何十年も超えようとしていた壁であり、**実現は不可能だろうと見る人もいました。**人間が走る速さには限界があり、既にそこに達していると考えていたのです。バニスターが4分を0.6秒下回ってテープを切った時、このあり得ない出来事は観衆を大混乱に陥れました。しかしそれ以上に驚くべきは、その後5年と経たないうちに100人以上が同じ偉業を成し遂げたことです。***今日では、この壁はほとんど日常的に超えられています。***

不可能に近いと思われることは往々にして達成可能であり、ライオンズの歴史は常にそれを物語っています。その好例は、数千万人の児童をはしかから守るため、ライオンズが現在GAVIアライアンス（ワクチンと予防接種のための世界同盟）と協力して進めている取り組みです（4月号23ページに関連記事）。はしかは毎年16万人の命を奪っており、犠牲者のほとんどは5歳に満たない子どもたちです。しかし、この信じられないほど悲しい現実も塗り替えられようとしています。**それは私たちがスピードを上げ、ゴールを切り、助けられるはずの病気で人々が命を落とすことのない世界を作り上げていくからです。**

私はライオンズに夢を追うよう呼び掛けています。バニスターを始め、偉業を成し遂げるあらゆる人物や集団はそうするものです。ライオンズの行動が最大の影響力を発揮するのは恐らく、現在はしかキャンペーンを主導しているLCIFを通じてでしょう。***ライオンズの奉仕はLCIFによって指数関数的に拡大されます。***それは私たちの資金を蓄積し、その善意を対象に向かわせる方法なのです。

どうか引き続きLCIFをご支援ください。それぞれの地域社会における皆さんの奉仕はかけがえのないものです。**LCIFに対するご支援は、ライオンズを全く新しい可能性の領域へと押し広げます。**大きな夢を描き、星に手を伸ばし、はしかの根絶を実現しようではありませんか。

2013-14年度国際会長
バリー・J・パーマー

THEME

資金獲得事業

クラブの活動資金を獲得する資金獲得事業。
市民の理解と協力を得て資金を獲得するだけでなく、
ライオンズの活動をPRする機会ともなる。
が、日本国内では事業費を会員のドネーションで賄うクラブが多いのが現状だ。
そこで国内外の資金獲得事業の事例をリポートする。

奉仕の輪を大きく広げる
資金獲得事業

日本にはなじまない？

「資金獲得事業」という言葉に、あまりなじみがないという人も多いかもしれない。クラブの事業資金を稼ぐために行う活動のことだ。

事業資金の収入源には、資金獲得事業による事業収益と会員によるドネーション、会員拠出金などがある。ライオンズクラブのアクティビティはまず事業計画を立て、その実行に必要な資金には資金獲得事業の収益を充てるのが基本だ。アクティビティの資金は会員負担によるのではなく、資金獲得事業によって地域社会に協力を求めて集める、というのが発祥の地アメリカの流儀だからだ。

しかし日本の場合、会員拠出やドネーションによって事業資金のほとんどを賄うクラブが多い。市民による寄付行為が一般的な欧米と違って資金獲得事業は日本にはなじまない、という考え方が日本ライオンズの草創期からあったようだ。

本誌が全クラブを対象に行った「資金獲得事業アンケート」（13年12月実施／回答率34・8％）の結果、「今年度中に対外的な資金獲得事業を実施する」クラブは50・9％、「実施しない」クラブは49・1％だった。「実施する」クラブの事業内容には、チャリティー・バザーやチャリティー・ゴルフが多い。一方、「実施しない」と回答したクラブに「資金獲得事業を実施しない理由」を選択肢から選んでもらったところ、「いずれ検討したいが現在は考えていない」が70・3％、次いで「必要性を全く感じない」が11・0％、「企画はあるが何らかの理由で実現出来ていない」が7・0％だった。

必要な事業費が会員拠出で十分に賄えているから必要ない、というクラブもあるだろう。

しかし、会員減が事業資金の減少に直結して、アクティビティを縮小せざるを得ないクラブがあるのも事実だ。また、クラブ会費以外の金銭的な負担が重くなれば、退会を招いたり、新会員の入会を阻んだりする要因にもなりかねない。

PR、新会員獲得に効果

今回の特集では、国内外のクラブが行っている資金獲得事業の実施例を集めた。いずれの事業も市民に喜ばれつつ資金集めに協力してもらえるよう、工夫を凝らして企画されている。特にアメリカのクラブの資金獲得事業には、広く市民に認知されて、町の名物行事にまで成長している事業もある。

市民に協力を求めて資金を集めることで、奉仕の輪はクラブ内だけにとどまらず大きな広がりを持つ。それはまた、ライオンズの活動を地域社会に理解してもらう絶好の機会にもなるだろう。

資金獲得事業は新会員獲得のチャンスにもなると言ったのは、故ケイ・K・フクシマ元国際会長。12年4月、クラブ活性化をテーマに日本で行った講演でのことだ。クラブの主要アクティビティの資金を得る資金獲得事業では、明確な目的の下に

会員が一丸になれるし、多くの会員の労力が必要になるので連帯感や充足感が生まれやすい。その効果について次のように話していた。

「自らの体を使った活動に充足感を覚えたメンバーは、自然に友人や知人をクラブに連れてくるようになります。（会員候補者に）例会ではなく、資金獲得事業に一緒に参加してもらい、その収益をどのように役立てたかを後できちんと報告する。そうすれば、仲間に加わってもらうのはそう難しいことではありません」

こう考えてみると、資金獲得事業はクラブに幾つものメリットをもたらしてくれそうだ。

法令に則った計画を

実は、資金獲得事業が日本ではあまり一般化しない背景には、単なる社会的な慣習というだけではなく、日本における法律的規制の特殊性がある。

ライオンズクラブ自体に対する寄付金が日本では税法上寄付金控除の対象にならないことは、比較的よく知られているだろう。ここで問題なのは、ライオンズクラブがその事業によって多額の収益を得た時、その収益に対する課税を誰がどこまで免れるかという、税制上の疑問が残ることだ。

また、個別の事業ごとに、これを規制する関係法令がたくさんある。例えば、食品なら食品衛生法、検診なら医療法、古本など中古品の販売であれば古物営業法、マラソンやトライアスロンなら道路交通法など、諸々の規制が問題になる。

事前に市町村や保健所、警察、専門家と相談して事業計画を進めることを忘れないようにしたい。

ライオンズクラブの資金獲得事業を通して得た資金に関する一般方針

（「国際理事会方針」第15章Bより一部抜粋）

公衆から募って得た資金は、公衆と、ライオンズクラブが奉仕する地域の利益のために使われなければならない。（略）公衆から得た資金の純益は、一部たりともライオンズ会員、その他あらゆる個人または団体の私益となるべきではない。（略）資金の適切な使途を決定する際に鍵となるのは、一般社会への透明性を考慮し、ライオンズが活動する地域での信頼を構築することである。

資金の使用に関するQ＆A

（「資金の使用に関するガイドライン」より）

Q. クラブで公園の管理を行っています。管理費として公共資金（資金獲得事業で得た資金）を使用してもよいですか？

A. はい。公園は公衆が利用するためのものなので、公共資金を用いて構いません。

Q. クラブに心臓移植を必要とする会員がいます。医療処置に伴う財政的困難を考慮し、この会員のための募金活動を行ってもよいですか？

A. いいえ。これは会員の私益と見なされます。個々の会員が支援のために個人的な寄付を行ったり、個人的に寄付するよう周囲に働き掛けることは出来ます。

Q. クラブでゴルフ・トーナメントを開催し、会員と市民にチケットを販売します。会員に販売したチケットの売上収益を運営資金として使ってもよいですか？

A. いいえ。イベントが一般公開された時点で、全ての収益は公共資金と見なされます。

Q. クラブは他の組織が行うがん撲滅チャリティー・マラソンで参加者に無料の食事をふるまい、テーブルに募金箱を置いています。集まった募金はどうするべきですか？

A. 集まった資金は公共資金と見なされます。ちなみにこのケースでは、チャリティーのために購入した食料の費用はクラブの公共資金から支出することが出来ます。

Q. 私たちのクラブはレオクラブをスポンサーしています。レオクラブの活動費に公共資金を使用してもよいですか？

A. はい。レオクラブはライオンズクラブの奉仕事業の一環であり、従ってレオクラブを支援するための資金は公共資金から出すことが出来ます。

Q. クラブはどのくらいの期間、公共資金を使用せず投資に充てられますか？

A. 長期プロジェクトに割り当てたものでない限り、資金は受け取ったその年度のうちに使わなければなりません。

ライオンズクラブ

クラブの資金獲得事業例 1

埼玉県・和光ライオンズクラブ

国内最大級の鍋料理コンテスト「ニッポン全国鍋合戦」に連続参戦

1月26日、埼玉県和光市で全国各地の鍋料理が参集し、日本一を決める「ニッポン全国鍋合戦」が開催された。和光市商工会が主催するもので、北は秋田の「くじらかやき」から、南は愛媛の「じゃこつみれ鍋」まで、全国15都県から43の鍋が参加。会場には家族連れなど約6万人が訪れ、熱々の鍋に舌鼓を打っていた。

この手のイベントは、町おこしなどを狙って開催されるものが多い。が、この鍋合戦は、全国から和光に移り住んできた人たちのお国料理自慢がきっかけで誕生したらしい。つまりほぼノリで始まったわけで、2005年の第1回は地元を中心に16チームが参加。規模が拡大したのは翌年からで、和光ライオンズクラブ（生方康吉会長／25人）もこの年に初参戦した。

クラブ会員でもある商工会の斎藤和康会長（今年度ゾーン・チェアパーソン）の要請に応えたものだが、もともとイベント系は大好きな活動の一つ。和光市最大のイベント和光市民まつりや福祉施設のお祭りに参加して焼きそばを販売したり、正月に駅前でもちつきをして子どもたちに無料で配ったりと、クラブを挙げての活動はお手のものだった。それに、和光市民まつり同様、アクティビティ資金獲得につながるかもしれない。そんな考えもあった。

最初の年はビーフシチューで参加。その後、ライオンズちゃんこ、埼玉の地鶏タマシャマを使った鶏鍋など、さまざまな鍋に挑戦。この間、寸胴鍋やコンロ、調理台などクラブの調理道具も充実させてきた。そして昨年までの3年間は、本気の黒豚スペアリブ鍋で参戦。これは大当たりで、約800食を売って、第8回、9回と連続で和光市長賞を獲得した。

それなりの手応えをつかんだ面々、第10回となる今年こそグランプリに当たる「鍋奉行」を狙うのか、と思いきや、本気疲れが出てしまい、今回は下準備が少し楽な「博多もつ鍋」を選択。しかも、最初から限定500食と決め、賞レースからはフェイドアウトした。

「黒豚スペアリブの時は下準備に前夜11時までかかるなど、大変だったんです。そこで今年は、会員の店のもつ鍋がおいしいと評判だったので、レシピを教えてもらいました。量を少なめにしたので売り上げは多くありませんが、副次的な効果がいろいろあります。まず一丸となって活動することで、クラブの結束が強くなります。それに6万人もの人出がある大きなイベントですから、ライオンズの存在を知ってもらう絶好の機会となります」

と生方会長。クラブでは今後も機会を捉え、積極的に地域のイベントに参加していきたいとしている。

クラブの資金獲得事業例 2

大阪府・枚方ライオンズクラブ

クラブが植え育てた梅林園で春の訪れを告げる祭り

午前11時の開始を前に、意賀美神社梅林園まつりの会場には甘酒とぜんざいの振る舞いを待つ人たちの長い行列が出来た。屋台ではメンバーたちが開店準備に大忙しだ。

3月9日、枚方ライオンズクラブ（平松正幸会長／95人）が開く梅林園まつりは第6回目を迎えた。厳寒の影響で開花が遅れ気味なのか、紅白の梅はそろそろ五分咲きといったところ。昨年まで風や寒さに見舞われてばかりだったが、今年は暖かな日差しが降り注ぐ晴天に恵まれた。

枚方は東海道56番目の宿場街。意賀美神社はかつての宿場町と淀川を見下ろす万年寺山の頂上にある。枚方ライオンズクラブは1976年に境内に梅を植樹。以来、清掃や歩道の整備を続け、梅の名所として市民に親しまれるまでになった。クラブは6年前から、梅が見頃を迎える3月上旬に梅林園まつりを開いている。

まつり会場は二つに分かれ、梅園内では野点が催され、一段下にある広場には屋台が並ぶ。梅の香りと花を愛でながらお茶を楽しむ野点は風流な雰囲気。一方、屋台では鉄板からおいしそうな匂いが漂って活気に包まれている。この日のメニューは、梅花をかたどった菓子と抹茶が楽しめる野点が200円、うどんと焼きそば、フランクフルトは100円。来場者にチケットを販売し提供する。市民に楽しんでもらうのが目的なので安価な設定だが、毎回10万円ほどの収益がある。今年の目玉は三陸産カキを使った焼きガキ。2個200円の安さと磯の香りに引かれ、チケットを手にした人が列をなした。ふっくらした肉厚のカキは、東日本大震災の被災地、宮城県松島町の磯崎漁業組合から仕入れたものだ。

震災後、被災者の顔が見える支援をしたいと考えた枚方ライオンズクラブは、現地のニーズを探し求め、カキの養殖いかだを失った磯崎漁業組合へいかだに使われる竹千本を寄贈した。この支援を通じて、いかだ用の竹は安価な中国産が主で、地元産の需要減により、竹林が荒れていることが分かった。そこで仙台市農業組合に竹用粉砕機1機を贈ることにした。粉砕機は竹林再生に役立つ上、粉砕された竹は堆肥に利用され、竹の子の収穫も期待出来る。今回、殻付きカキ千個を届けた磯崎漁業組合からは無償提供の申し出があったが、クラブは少しでも支援になればと購入することにした。

地域の祭りや行事で屋台を出して飲食物を提供するには保健所への届け出が必要だ。枚方ライオンズクラブも毎回届けを出しているが、今回は焼きガキが加わったことで、例年より厳重な注意を求められた。そのため、チケット販売所や屋台店頭に「屋台商品の持ち帰りはご遠慮ください」の貼り紙を掲出。焼きガキ担当の会員は念入りに「すぐに食べてくださいね」と呼び掛けていた。

「クラブとしては当分は被災地支援を第一に考えています。少額ではありますが、梅林園まつりの収益も被災地の支援に使わせて頂きます」と平松会長は話している。

資金獲得アイデア集 日本編

埼玉県・秩父中央ライオンズクラブ
クラブの活動を支える成人病予防健診

日々健やかに暮らすために、定期的な健康チェックは大切なことだ。とはいえ中小企業では自社に健診車を呼べるわけではなく、平日の受診が難しいという人も少なくない。

秩父中央ライオンズクラブ（三島木悦子会長／38人）はそうした人たちを対象とした成人病予防健診を、毎年4月と10月の第3木、金曜日の夜に実施。市民に喜ばれ、かつクラブの重要な資金源となっている。

結成15周年の1993年、臨床医学研究所を経営するL栗原俊雄の全面的な協力を得て事業は実現した。健診料は7千円。検査項目は一般の健康診断よりも多い。回を重ねて内容も進化し、メタボ健診や、オプションで腫瘍マーカーも追加した。評判は口コミで広がり、当初年1回だった実施が2回に。また秩父郡市医師会も協力してくれるようになった。

近年は1回当たり約150人が受診する。昨年秋までの受診者数は延べ7668人。2年後には1万人を突破する見込みだ。毎年同じ日に開催するため予定を入れている人も多く、8割がリピーターだという。

この成人病予防健診による収益でクラブの年間事業費の全額を賄い、メンバーがクラブへ拠出するのは運営費と会食費のみだ。この財源をもってクラブは、地域を巻き込み一緒に活動する事業に力を入れる。ライオンズクエストを秩父地域の全中学校と小学校に広め、教育委員会の主導に移行させた。第29回を迎える市民音楽祭は秩父の学芸音楽の中心となった。他にも秩父夜祭での特大ゴミ箱設置等々、資金獲得の成功が事業の幅を広げている。

山形霞城ライオンズクラブ
おいしい復興支援・チャリティー賞味会

山形霞城ライオンズクラブ（佐藤正悦会長／82人）は東日本大震災以降、震災復興を目的としたアクティビティを数多く実施してきた。

結成40周年を迎える今年度は9月27日、「チャリティー賞味会」を開催した。地元山形から今や全国に名を馳せる庄内イタリアン、アル・ケッチァーノのシェフ奥田政行氏と、今回会場となったパレスグランデールの総料理長・高橋正伸氏とのコラボレーションが実現。会費9千円でおいしい料理を楽しんでもらい、収益を復興支援に充てる。「五感で味わう山形・食の恵み」と題されたメニューは「庄内浜ハタの紅麹焼き秋の香り揚げと牛舌の黒酢煮の東根麩パン粉焼き」がメーンのフルコース。地元食材を使った料理に参加した約400人が舌鼓を打った。

奥田シェフ自身も率先して復興支援に取り組んでおり、クラブが事業の趣旨を説明すると快く協力してくれた。有名シェフの賞味会は特に女性に人気が高く、前売り券は早々に完売。当日会場5カ所に設置した募金箱には42万円強が寄せられた。

純利益の71万6千円で、宮城県気仙沼市の中学校3校（面瀬、松岩、階上）がそれぞれ使用している仮設グラウンドに、運動用具や備品を入れる倉庫計3棟を寄贈した。同校では校庭に仮設住宅が建てられているため、近くの原野や田畑を造成しグラウンドにしており、移動の度に用具を運搬するのに難儀していた。

多くの苦労や不便があっても生徒たちは明るく元気。「わざわざ遠くから声を掛けてあいさつしてくれるんです。私たちの方が元気づけられています」と佐藤会長。これからも復興支援を続けていくつもりだ。

鳥取いなばライオンズクラブ
楽しく歩いて健康促進

鳥取県は「ウォーキング立県とっとりをめざして！」を掲げてウォーキングを推進している。というのも、県民が1日に歩く歩数が全国順位の下位にあり、運動機能維持や生活習慣病予防のため県が定めた成人男性8千歩、成人女性7千歩の目標にもそれぞれ1500歩も足りない。

鳥取いなばライオンズクラブ（野村俊美会長／80人）は県の趣旨に賛同し、昨年度結成45周年記念事業として、「森林公園とっとり出合いの森『いなばの森』森林浴ウォーキング大会」を開催。これが大好評だったことから、今年度は定員を増やして11月3日に実施した。

会場の「とっとり出合いの森」は甲子園球場の20倍の広さを誇り、四季を通じて豊かな自然を楽しめる。クラブではこの5年間で園内に約5千本を植樹し遊歩道を作って、市民の憩いの場として管理。こうした場所でのウォーキング大会開催はライオンズの活動を市民に周知する機会にもなり、一石二鳥というわけ。

会場内に設けた屋台村は、メンバー経営店が特別価格で提供する豆腐ドーナツや薬膳キーマカレー、自然薯入りお好み焼き、黒毛和牛やきそばなど、他にはない品ぞろえで大好評。ウォーキング参加者には屋台で使える100円割引券を配布、ほぼ全て使用された。屋台では一般の公園利用者も買い物が出来る。大会経費を賄う程度を目標にしたが、ウォーキング参加費（1人500円）約10万円、屋台売上16万円などで6万円強の黒字となった。

クラブが設定したウォーキング・コースは、県の「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」のコースの一つに組み入れられた。大会当日だけではなく、市民が散策を楽しみながら健康を保つのに寄与している。

宮崎県・延岡、延岡向洋、延岡五ケ瀬ライオンズクラブ
今年も楽しみ、チャリティー・ショー

延岡市は宮崎県北部に位置し、人口12万余人の風光明媚な小都市。市内にある延岡（久嶋寛会長／42人）、延岡向洋（伊藤國彦会長／17人）、延岡五ケ瀬（中薗憲昭会長／48人）の3ライオンズクラブはそれぞれにチャリティー・イベントを開催し、いずれも大きな収益を上げている。

結成54年の延岡ライオンズクラブは、残る2クラブのスポンサーでもある。主たる収益事業「ライオンズ寄席」は今期で27回を数える。毎年、開催3カ月前から会員一丸となってチケット販売、広告依頼などの準備を進める。今年度は10月21日に開催。18時の開場を待ちきれず、朝の10時から熱心なファンが並んだ。入場券は3千円で販売、来場者は千人を超え、収入は百数十万円に上った。

当日、久嶋会長はあいさつの中で、ライオンズの歴史や活動内容などを分かりやすく紹介。ロビーでは献眼登録受付コーナーを設け協力を呼び掛けた。事業資金獲得に加え、市民の娯楽、ライオンズのPR、献眼推進と一石何鳥にもなる事業なのだ。

延岡向洋ライオンズクラブは22年続く「舞踊とハワイアンの集い」を主催。延岡五ケ瀬ライオンズクラブは3クラブ中では最も若い1979年の結成だが、チャリティー事業の「明治大学マンドリンクラブ演奏会」は今年3月に第33回を数えた。どちらも約1200人が来場した。

会場は3件とも延岡総合文化センター。来場者の分布域は重なるはずだが、競合することなく皆成功を収めている。需要のあるものを提供出来れば、一つの地域で年に複数回の資金獲得も十分可能だということ。

収益金は、市内各種施設への助成や、青少年教育、献眼・献血推進などを通じて地域に還元。皆が喜ぶ循環が確立されている。

資金獲得アイデア集 海外編

アメリカ・ペンシルベニア州 彫刻オークションで視覚障害者支援

ペンシルベニア州アディソンで開催されるナショナル道路チェーンソー彫刻フェスティバルには、国内はもとより海外からも腕自慢の彫刻家が集まる。鋭い爪を宙に振り上げる態に、翼を広げる鷲。うなりをあげるチェーンソーが、1本の丸太から生き生きとした造形を削り出して、数千の観客の目を釘付けにする。前回のフェスティバルでは43人の彫刻家が技を披露した。

フェスティバルを主催するのはコンフルエンス ライオンズクラブ。クラブの会員でチェーンソー彫刻家のライオン ドン・ウィナーの提案で2004年に始まった。完成した作品はオークション形式で販売され、収益はサマセット郡視覚障害者センターに寄付される。過去10回のフェスティバルで、10万ドル以上が贈られた。

クラブはフェスティバルのためにスポンサーを募り、300ドルまたはそれと同等の寄付を集めている。このスポンサーには周辺のライオンズクラブも協力してくれて、中にはトラクターなどフェスティバルに必要な備品を提供してくれるクラブもある。

毎年6月、週末3日間に催されるフェスティバルの楽しみは、チェーンソー彫刻だけではない。金曜日には町の目抜き通りでパレードが行われ、夜には花火が打ち上げられる。

フェスティバルのハイライトの一つで、ライオンズならではのプログラムが、視覚障害者による彫刻の審査会だ。サマセット郡視覚障害者センターを利用する視覚障害者が、彫刻に手を触れながら鑑賞し審査する。作品は10点満点で採点されて、第1位の受賞者にはトロフィーが贈られる。最終日の土曜日には観覧客による人気投票も実施。最も多くの票を集め「ピープルズ・チョイス賞」に輝いた作品はコンフルエンス ライオンズクラブが買い上げて、会場の公園に展示する。

そしてフェスティバルの最後を締めくくるのが、彫刻作品のオークション。昨年は140点が出品された。中には千ドル以上の値が付く作品もある。合わせて4万ドル近くにもなる売り上げは出品者とクラブが折半。クラブが得た収益は、前述の通り視覚障害者支援に充てられる。

イギリス ライオンズの古書店「ブック・デン」

「5分立ち寄るだけのつもりだったのに、気付いたら1時間近く本を物色していた。最後は特価の本を山積みに持ってレジに並んでいたんだ」

バージェス・ヒルにある「ブック・デン」の常連客はよくこんなことを言う。

この古書店は毎週1700冊の本を売り上げる。ブック・デンには料理、ガーデニング、歴史、伝記、スポーツとさまざまなジャンルの本が棚という棚に並んでいるのだ。

バージェス・ヒル・ディストリクトライオンズクラブが中古本を売り始めたのは20年前のことだ。その頃はまだ、ショッピング・モールの一角にいくつかの机を出した程度の規模だった。だが、このビジネスは軌道

に乗った。そして3年前に今の場所に古書店としてオープンすることとなった。

「本を売り始めたことで、我々は多くの人がどんなものに価値を見いだし、お金を払うのかということに気付くことが出来ました。そして同時に、人々が地域のためのチャリティーに協力したがっているということも分かったのです」

そう語るのはLトニー・パリス。

ブック・デンに置いてある本は全て寄付されたものだ。中にはここで買われ、そしてまた寄付されて戻ってくる本もある。店頭に並んでいる本は約3500冊。更に倉庫などに在庫が4500冊ある。クラブではこの店の賃貸契約が切れる5年後ま

でに合計約30万冊を取り扱う必要があると見積もっている。

時折、クラブではレスリー・チャータリスの『セイント』シリーズや、イアン・フレミングらによる『ジェームズ・ボンド』シリーズの初版と出会うこともある。また、サミュエル・ジョンソンの『英語辞典　第1巻』の第4版が寄付されたこともあった。クラブではこれらの希少本を古書ディーラーに売ったり、インターネットのオークションサイトで売ったり、競売にかけたりしている。

古書店を経営するのには人手がいる。クラブは毎週月曜日から土曜日まで週に38時間、このショップを運営している。年間利益は約6万ドルだ。これまでに、デイ・センターに温室を寄贈したり、障害児のためのサッカー場を作ったり、負傷兵の支援組織ヘルプ・フォー・ヒーローに助成したりしてきた。

アメリカ・ワシントン州
伝統の味が人気のサーモンBBQ

ワシントン州シアトルの北に、氷河の侵食で複雑に入り組んだピュージェット湾がある。湾内最大のウィッビー島にあるコープヴィルは、州内で2番目に古い歴史を持つ町だ。人口1900人足らずの小さな町にあるコープヴィル ライオンズクラブは会員数124人。数々の活発な奉仕活動を展開している。毎年夏の終わりのサマー・コンサートに合わせて開催するのが、サーモン・バーベキュー祭だ。

サーモンはネーティブ・アメリカンの伝統にならって調理される。フェスティバル前日にネーティブ・アメリカンの人たちが捕った新鮮なサーモンに、焦げ付き防止のオイルと海塩をひと振りして、ハンノキのたき火の上へ。香ばしい燻煙の風味豊かなサーモンが焼き上がる。

コンサートに訪れた市民らに200～250皿を提供して、収益は約2千ドル。この事業で獲得した資金は、コープヴィル ライオンズクラブ基金に組み入れる。

クラブの奉仕事業は、コープヴィル高校卒業生に対する奨学金、高齢者宅に飲食店から食事を配達するサービス、車椅子や電動ベッドなど医療用品の無料貸し出し、献血、道路清掃など多岐にわたる。基金はこれらの事業に使う他、ボーイスカウトやフードバンク、アート&クラフト・フェアなど、島内の地域活性化や福祉、文化活動にも提供している。

毎年恒例の資金獲得事業はサーモン・バーベキューを含めて六つ。奨学金ディナー&オークション、白い杖デーに行う視力及び聴覚障害者支援の資金集め、ガレージ・セール、コープヴィル公園の維持整備、変わったところではお買い物大会というものがある。クラブがお買い物くじを販売し、当選者は会場のショッピング・センターで3分間の制限時間内にショッピング・カートに入れた商品を獲得出来るというユニークな企画だ。

ニュージーランド
ブラ・アートで乳がん防止に貢献

女性のみで結成されたニュージーランドのライオンズ、パルマーストン・ノース・ハートランド ライオンズクラブは、あるユニークなプロジェクトを実行した。それは、ブラジャーにさまざまな装飾を施したアート

作品の展示会だ。

　同クラブのメンバーたちは、色や素材が異なるブラジャーにアイデアあふれる飾り付けをして、89もの作品を作り上げた。展示会の来場者は、乳がん基金への寄付として1ドルを支払い、それによって好みの作品への投票権を得る。パルマーストン・ノース・ハートランド ライオンズクラブはこの催しで1441ニュージーランドドル（約13万円）を集めると共に、たくさんのくすくす笑いや微笑みを得ることも出来た。

　1位に選ばれたブラジャーは「国宝」と名付けられたライオンフェイ・フェルナーの作品。そして、「最もウィットに富んだタイトル賞」に選ばれたのが「バブランの空中庭園」。作ったのはライオンジャン・ケントだ。

「この事業は乳がん防止月間に実施しました。私たちは皆、知り合いに乳がんが見つかった人がいます。今回のプロジェクトは今までのライオンズ・ライフで一番楽しかったことだと言えるかもしれません」

　と、イヴォン・マックイワン会長。

アメリカ・カリフォルニア州
優雅なクラシックカー展示会

　カルフォルニアにあるパロ・アルト・ホスト ライオンズクラブはイベントをどう計画すればいいか、よく知っている。彼らはカルフォルニア北部で44年にわたり、クラシックカーの展示を行ってきた。「Concours de Elegance」とフランス語で名付けられたこの展示会、意味は「優雅の競争」だ。

　展示会には高級車ばかり500台以上が並ぶ。出展するには、内装も外装も美しく磨き上げられていることが求められる。どの車も完璧なまでにワックスをかけられ、ピカピカの車体は太陽の光をまぶしいほど反射している。

　この事業には地域の他のライオンズも協力している。8クラブのメンバーたちが少なくとも200人以上

集まり、ボランティアとして運営の手伝いをしているのだ。彼らはチケット販売や、当日の飲食物販売、警備などを担当している。

　期間中、展示会には毎日約7500人が訪れる。また、アメリカ・スポーツカー・クラブからは審査や運営の手伝いとして、およそ100人のボランティアが参加。収益は平均して1回につき約10万ドルだ。クラブではこのお金を46の組織に分配して寄付している。

　ライオンハル・シュッテは「我々が始めた頃のことを考えてみれば、今も続けられているということはすごくラッキーなことなんだ」と冗談まじりで語る。初開催となった1967年はわずかな車しか展示出来ず、1400ドルの赤字を出した。だが、継続するにつれて規模も拡大、質も向上していった。彼は今後もこの展示会がより良く、大きくなっていくと信じている。なぜなら、ライオンズは毎年計画を見直し、改良を加えているからだ。北部カルフォルニアの至る所でこの展示会が人気になっていることは説明の必要がない。ライオンズは熱狂的なファンですら興味がひかれるような特別な趣向を加えている。ライオンシュッテは語る。

「私が思うに、この一工夫が展示会を特別なものにしているんだ」

オーストラリア
ミントの香りで資金を獲得

　パーマー国際会長の地元、オーストラリアのライオンズは1234クラブ、会員数は2万7041人（14年2月末現在）で、201複合地区の下に19の準地区がある。その201複合地区が展開する資金獲得事業、ライオンズ・ミント・プログラムは、1976年の複合地区年次大会に提案された。「ライオンズ・ミント」と名

付けたペパーミント・キャンディーを販売して、クラブの事業資金を獲得しようというアイデアだ。

この提案は、各クラブに年間を通じた資金獲得の手段が出来ることや、複合地区が主導することでクラブが地域奉仕に専念出来ると支持された。その後、オーストラリアでの成功を受けて、ニュージーランド、南アフリカ、カナダのライオンズも同様の資金獲得事業を導入している。

ライオンズのロゴ・マークを商品に使用するには、国際協会の許諾が必要。ライオンズ・ミントも協会に使用許諾を申請し、全製品の包装紙にライオンズの資金獲得であることを示すロゴを入れることを条件に認められた。また、「ライオンズ・ミント」の商標は国際協会によって登録されている。現在、ライオンズ・ミントはオーストラリアのダラー・スイーツ・カンパニーが製造し、ペパーミントの他に、スペアミントやムスクなどのフレーバーや、砂糖不使用タイプのキャンディーもある。

ライオンズ・ミントの収益は合わせて年間約80万オーストラリアドルに上る。201複合地区は、下肢に障害のある児童に歩行器を贈るオーストラリア・ライオンズ児童モビリティー財団や、ライオンズさい帯血・小児がん研究財団などの財団を設立しており、クラブが獲得した資金は各地域での奉仕活動に使われる他に、これらの財団に提供されて、支援を必要とする人々のために役立てられている。

201複合地区が手掛ける資金獲得事業には、ライオンズ・ミントの他にクリスマスケーキの販売もある。

アメリカ・アイダホ州

ジャガイモ人間、アイダホを疾走する

ジャガイモで有名なアイダホ州のバーレイでは25年前から毎年7月最終週にトライアスロンの大会が行われている。これはバーレイ ライオンズクラブの資金獲得事業だ。大会名は「ジャガイモ人間のトライアスロン」。アイダホ南部の農業地帯で行われることからこう名付けられた。個人戦とチーム戦があり、各部門の優勝者にはセラミックで出来た小さなジャガイモ像が送られる。

この大会は地域に大きな影響を与えている。数年前、クラブが試算したところ、同大会が地域にもたらす経済効果は1500万ドルだった。当初は参加人数が800人程度だったが、今は参加登録が2千件。それに加えて大体5千人くらいの観客が訪れるため、当時の倍以上の経済効果があると考えられる。あまりの人気にクラブでは7年前から登録数の上限を設け、個人部門もチーム部門も参加者の決定を抽選で行っている。この抽選への応募料は5ドル。当選した場合の参加費は1人だと80ドル。2人チームは120ドルで、3人チームは160ドルだ。2011年は個人とチーム合わせて約2400人が参加した。

「最初の数年間、私がこの大会の指揮を執っていました。そして、その頃は私も選手として参加していたんです。この大会が徐々に大きくなり、両方やるのが困難になるまでですけどね」

とライオンスコット・ブロクハンは語る。彼は今、レース責任者の仕事をライオンケード・リッチモンドに譲っている。

トライアスロンは厳しく大変な競技だが、このコースは比較的楽だ。1マイル泳ぐスネーク川は時速約4マイルの流れがあり、泳ぐよりもただ浮かんでいる方が早い場合もあるくらいだ。その後の自転車やマラソンのコースも平坦だという。トライアスロンの全国紙では登録すべき10の大会の一つに選ばれるなど、初心者向けのコースとして世界中で人気がある。国内32の州に加えてオーストラリア、日本、香港、イギリス、アイルランドなど海外からの参加者も多い。

2011年の収入は17万5千ドル。協力してくれた組織への支払いなどの運営費は約7万ドルで、残りは全て地域に還元している。25年間で70万ドル以上になった。アイダホ・ライオンズ・サイト&ヒアリング基金

（Idaho Lions Sight & Hearing Foundation）への寄付や学校での視力検査の実施、盲導犬の助成、公園の再整備などのために使われた。また、この事業の成果はお金だけではない。大会参加者の入会があるなどライオンズクラブのPRにも一役買っている。

クロアチア テディベア病院の収益で孤児院支援

子どもを病院に連れて行くことを喜ぶ親はいない。でも、クロアチアのライオンズによるテディベア病院は例外だ。

この病院では、子どもたちは自分一人で医師や看護師と向き合って、質問に受け答えをする。大切なテディベアに診察を受けさせるためだ。いつも可愛がっているテディベアが、ワクチンの接種を受けたり、骨折した腕にギプスを着けてもらったり、目や耳の検査を受けるのに付き添い、見守るのだ。

医師の診察を受ける際に子どもたちが抱く恐怖心を和らげると共に、独立心を育み、更に事業資金も獲得する。そんなアイデアを考えたのはスラヴォンスキ・ブロド・ニューセンチュリー・マルソニア ライオンズクラブだ。ボスニア・ヘルツェゴビナとの国境に位置するスラヴォンスキ・ブロドは人口6万人。ローマ時代には既に要塞が築かれて「マルソニア」と呼ばれていた歴史ある都市だ。クラブの会員14人の中には市立病院で働く医師が数人いるので、テディベア病院で使う聴診器その他の備品は彼らが用意してくれる。

ライオンズによるテディベア病院は、子どもフェアに合わせて開催。診察は市の中心部に建てられた大きなテントの下で行われる。テディベアの診察代は一体10クーナ（約180円）で、収益は孤児院への支援に使われる。

アメリカ・テネシー州 芝刈り機レースの熱戦

彼らには飾り付けることも、お金をかけることも、お洒落することも必要ない。しかし、フェアフィールドで行われる競争に参加するためには、自在に芝刈り機を操る必要がある。これは、フェアフィールド ライオンズクラブが毎年行っている芝刈り機レースだ。

首位を狙って出場する芝刈り機は型も形もさまざまなものがそろっている。もちろん、それらはそれぞれ参加者の所有物だ。レースが行われるライオンズクラブ・ハウスの前には早い時間からレースを待ちきれない観客たちが押し寄せる。

入場料は大人5ドルで、6歳から12歳の子どもは2ドル。6歳未満の子どもは入場無料だ。会場には屋根のない観客席があるが、家族連れは自らローンチェアを組み立てて座っている。

この事業で得られた資金は視力検査と眼鏡購入のために使われている。また、地域の他のプロジェクトを助成することもあるという。

被災地のライオンズは今

福島県・相馬ライオンズクラブ

原発事故の影響を受けながらも
復興とライオンズ活動に取り組む

3月17日、相馬沖で春の訪れを告げるコウナゴ漁が始まった。コウナゴはイカナゴの稚魚で、漢字では「小女子」と書く。日本の各地で取れ、釜ゆでにして干したもの（左写真）や、甘露煮風の佃煮にしたものなど、食卓ではおなじみの小魚だ。

相馬沖合いは親潮と黒潮が交じり合い、カレイやヒラメなど150種以上の魚が集まる好漁場となっている。が、2011年以降は震災と原発事故の影響で操業を自粛。一昨年から魚種を限定して、試験的に漁を再開した。

沿岸漁業の主力の一つコウナゴ漁は、震災翌日の3月12日が解禁日だったが、その年は一度も漁に出ることはなかった。そして翌年も自粛。コウナゴの試験操業が始まったのは昨年からだ。今年の初日となった17日には70隻が出船し、約980キロを水揚げ。放射性物質は検出限界値（1キロ当たり12ベクレル）未満で、地元はもとより東京など県内外へ出荷された。

また、これに先立つ3月5日にはシラウオ漁が復活。福島沖の漁港には震災後初めて「白いダイヤ」と呼ばれるシラウオが水揚げされ、3年ぶりの漁に沸いた。そしてこちらも検査で放射性物質は「不検出」となり、相馬市のスーパーなどで生のまま販売された（右写真）。

現在、試験操業は2～3カ月おきに実施しているが、対象となる33種以外は海に戻さなければならず、主力のカレイ、ヒラメ類を始め取れた魚の多くが水揚げ出来ない状況となっている。更には風評被害もあり、福島の漁業を取り巻く環境はまだまだ厳しい。1日も早い本格操業再開の実現が待たれるところだ。

復興チャレンジ丼で観光振興

相馬市の松川浦は大小の島や岩が点在し、「小松島」とも称される景勝地。震災前は多くの観光客でにぎわっていたが、津波の直撃を受け様相が一変。特に漁業復活の見通しが立たないため、観光の目玉である相馬産魚介類の提供が出来ず、大きな痛手となっている。

そんな状況を打破するため、観光協会と旅館組合が中心となり、観光に携わる27の事業所が手を組み、「松川浦観光振興グループ」を結成。まず「松川浦＝おいしい魚の町」というイメージが人々の記憶から消えることがないよう、情報発信をすることになった。

その第1弾として、11軒の旅館や民宿、飲食店が、それぞれ工夫を凝らしたオリ

お食事処たこ八の復興チャレンジ丼第1弾「海鮮どんぶり宝船」

ジナル・メニューを開発。それを共通の「復興チャレンジ丼」の名の下に提供し、松川浦観光の復興を目指すことにした。この企画はその後も継続して取り組まれ、既に第6弾の復興チャレンジ丼が登場している。

ただ、地元メディアでは取り上げられるものの、県外からの観光客誘致にまでは至らず、参加事業者は回を追うごとに減っているという。更には地元の魚介類を使うことが出来ず、食材を県外から取り寄せるなど課題も多い。事業者からは、風評被害を考えると先が見えないと悲観する声も聞かれ、漁業同様、こちらも厳しい状況にある。それでも、チャレンジ丼を続け、松川浦の今を発信し続けるべきという若手事業者からの前向きな意見もあり、本当の「松川浦のおいしい魚」が提供出来るまで、グループのチャレンジは続きそうだ。

歴史ある町のライオンズ

相馬は江戸時代、中村藩6万石の城下町として栄えた。相馬野馬追や、相馬盆歌を始めとする民謡の古里としても知られる。野馬追は起源を千年以上前に持つ伝統行事で、国の重要無形民俗文化財に指定され、妙見3社（相馬市の相馬中村神社＝左写真、南相馬市の相馬太田神社と相馬小高神社）の合同例祭に合わせて行われる。

そんな相馬市を奉仕地域とする相馬ライオンズクラブ（志賀政行会長／14人）は1977年に誕生。震災後、クラブの継続事業4件のうち2件が中止になるなどの影響を受けた。そのうちの一つゲートボール大会は25年間継続していたが、対象者が仮設住宅などに分散してしまったこともあり、協力団体のゲートボール協会から中止の申し入れがあった。

現在、例会は月1回、市内のレストランで開いている。出席率は非常に良く、よほどのことがない限りほとんど全員が出席する。そんな中、目下の悩みはゾーン運営。1クラブが解散し、震災前も4クラブだけだったが、原発事故による全村避難で飯舘ライオンズクラブが活動出来ないため、3クラブでがんばるしかない。今が踏ん張りどころだという。

また、メンバー個人も被災しており、特に海岸から100メートルほどの所に自宅と事業所（立谷味噌醤油店）があった立谷健二は津波で両方を失った。現在はやや高台の土地に移って、味噌と醤油作りを再開（右写真）。自宅兼店舗を工場の近くに建て営業しているが、県外の得意先台帳も流されたため、販路開拓が急務。風評被害の心配もあるが、一歩一歩前進の日々だ。

（取材／鈴木秀晃）

執行役員だより

創立100周年に向け「ウィ・サーブ」を推進

■国際第2副会長
山田實紘
（岐阜県・美濃加茂）

会員の皆様におかれましては、人類の平和のため、日々人道的奉仕に誠意を持って活動されていることに感謝申し上げます。

国際第2副会長就任からはや10カ月が経過しましたが、世界のライオンズから寄せられる日本への大きな期待を身をもって感じております。まさに日本ライオンズが半世紀にわたりライオニズムの高揚に努力してきた賜物であると確信しております。先輩諸氏に敬意の念を抱かずにはいられません。

さて国際本部では現在、2017年のライオンズクラブ国際協会創立100周年を目前に控え、会員の男女比を同じにするための方策を模索しております。3月にアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際理事会では、国際家族及び女性コーディネーターの役職を設けることが承認されました。その名の通り、コーディネーターの役割は女性会員と家族会員の増強及び育成を推進し、活動を促進することです。任期は最長3年間で、その活動内容を年度ごとに精査し、国際会長が第1、第2副会長と協議した上で更新するか否かを判断します。既に活動しているGMTやGLTとうまく協働することが重要であります。そのため、地区や複合地区レベルでも女性・家族会員増強のための専属の役職を作り、連携を深めて参ります。

国際理事会の会期中、理事会メンバーと共にサンディエゴ海軍基地を訪問した山田第2副会長夫妻（右端）

日本においてはバリー・パーマー国際会長の任命を受け、既に今年度からGMT特命エリア・リーダーとして、家族会員開発エリア・リーダーと女性会員開発エリア・リーダーが設置されております。世界に先駆けた取り組みですから、今後の規範となるようまい進していかなければなりません。日本の35準地区ごとに見てみますと、2人目以降の家族会員が全会員の30％を超えた所もありますが、八複合地区全体では十数パーセントに留まっています（3月末現在）。「家族でウィ・サーブ」を合言葉に、今後も家族会員増強を着実に進め、目標を達成することが出来れば、日本ライオンズとして大変誇らしいことであります。

また、協会創立100周年記念に向けて、国際本部ではコンサルタントと手を組み、視力保護、青少年育成、地球環境保全、災害支援等の活動企画を立案中です。会則地域、複合地区、準地区別に協会創立100周年記念実行委員会を設置することになっております。全世界から各クラブ・レベルまで、会員全員の心に残る記念の年となり、世界中の奉仕の心を持つ人々を強く結びつけ、次の100年に向けた礎となることでしょう。

奉仕は人類の永遠のテーマであります。「ウィ・サーブ」の精神により、ライオンズクラブ国際協会は世界から信頼を受けているのです。我々はライオンズであることに誇りを持ち、今後も奉仕活動に励んで参りましょう。

ライオンズニュースカセット

NEWS CASSETTE

福島復興心理・教育臨床センターの橋本和典代表は、被災地におけるPTSDの問題について現状報告し、ライオンズの知恵と手を貸してほしいと訴えた

被災地復興を考える全国ライオンズ・メンバー・フォーラム

330－A地区（東京都／鈴木定光地区ガバナー）と332－C地区（宮城県／林昭平地区ガバナー）共催の東日本復興支援プロジェクトが、4月4、5日の2日間にわたり行われた。4日、仙台市情報・産業プラザで開かれた全国ライオンズ・メンバー・フォーラムのテーマは、「ライオンズクラブが出来ることを考える」。被災地支援について考えると共に、全国の仲間と交流して絆を深めることを目的に企画されたもので、330－A地区237人、332－C地区67人を含む全国18地区から394人が参加した。阿部浩332－C地区緊急アラート委員長、石巻ライオンズクラブの松田弘美会長らによる現状報告の後、参加者は40のテーブルごとに分かれてグループ・ディスカッションを行った。各テーブルでは心のケアへの取り組みや情報ネットワークの重要性、実際に被災地へ足を運ぶことなど、長期的な支援の在り方が話し合われた。また、震災を風化させることなくライオンズが団結して支援に取り組もうと、フォーラム参加メンバーを対象に石巻市や南三陸町を視察するツアーも行われた。

翌5日は名取市文化会館で「未来へつなぐ明日への『希望』コンサート」を開き、仮設住宅に入居している被災者1350人を招待。千昌男、おりも政夫によるステージや、子どもたちのダンス・パフォーマンスを楽しんでもらった。

今年度を総括する地区年次大会スタート

6月のライオンズ年度末に向けて、今年度を締めくくる地区年次大会がスタートした。4月第1週から6月第2週に掛けてのほぼ毎週末、全国各地で準地区及び複合地区の年次大会が開かれる。

全国35準地区の先頭を切ったのは335・C地区（京都府・滋賀県・奈良県／児玉保次地区ガバナー）。桜満開で迎えた4月5日、京都市左京区・京都コンサートホールで第60回335・C地区年次大会が開催された。同地区は今大会を世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブの意義を広く社会に示す場と捉えて、「市民とともにキラリ 60年」を大会テーマに掲げた。大会を2部構成とし、後半は小学生と保護者ら市民を招いて「皆が指揮者：オーケストラを体験する」コンサートを共に楽しんだ。最後は指揮者の井村誠貴さんと京都市交響楽団の演奏で、「また会う日まで」を全員が手をつないで合唱し、閉幕した。

（情報提供：石田とし子地区PR情報・IT委員長／ライオン誌サポーター）

最新情報を各地区へ迅速に伝達する全国ガバナー連絡会

3月18日、東京・銀座の銀座ブロッサムにおいて、第3回日本ライオンズ国際委員会及び全国ガバナー連絡会が開催された。日本ライオンズ国際委員会ではサンディエゴ国際理事会の審議内容について山田實紘国際第2副会長が報告。トロント国際大会にガバナー協議会議長の任務や選任に関する3項の国際付則改正案が上程されることや、協会公認プロトコールが変更されて、元国際理事の直後にLCIFエリア・コーディネーター、GMT／GLTエリア・リーダーが、前地区ガバナーの直後に複合地区委員長、複合地区コーディネーター（LCIF、GMT、GLT）が加わったことなどが説明された。その他にも、GMTの各リーダーによる家族会員増強の進捗状況や、複合地区会則改正案に関する説明があり、最新情報の共有と確認が行われた。続いて開かれた全国ガバナー連絡会では、国際委員会で集約された情報が全国から集まった地区ガバナーに伝達され、進行役を務めた国際委員会の栢森新治委員長が「最新情報を基に各地区で迅速に、機敏に対応してほしい」と述べた。

東日本大震災の被災クラブに対する支援

サンディエゴで開催された国際理事会において、東日本大震災の発生後、被災クラブ支援のために講じられてきた国際会費免除の措置を今年度で終了することが決まった。

またステータス・クオ規定が改定され、福島第1原子力発電所の事故の影響により避難中のクラブを新しい概念の「優先クラブ」と位置付けて、国際会費納入が遅れた場合でもすぐにステータス・クオとせず、支援を提供出来るようにした。

韓国・仁川で開かれる第53回OSEALフォーラム

3月7～9日、韓国・仁川(インチョン)で第53回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムの第1回ステアリング委員会が開催された。主な決定事項は以下の通り。

開催地：韓国・仁川
日程：2014年11月13日（木）～16日（日）
　開会式　14日13時半～17時
　閉会式　16日10時～12時
フォーラム・テーマ：寛容（Tolerance）「尊重しましょう、そうしたら尊重されます」
本部ホテル：シェラトン仁川ホテル
開会式／閉会式会場：松島コンベンシア
登録料：事前登録締切8月31日まで110ドル
　9月1日以降120ドル
公式ウェブサイト：oseal2014.org/jap/

1月承認の視力ファースト、ライオンズクエストの交付金

1月開催のLCIF視力ファースト諮問委員会及びライオンズクエスト諮問委員会会議において、交付金申請事業の審査が行われた。

　視力ファースト諮問委員会では14件総額548万7297ドルの交付を承認。マリのライオンズとアフリカ熱帯眼科研究所のパートナーシップによる、数カ年計画の眼科医、眼科助手、検眼医の育成支援のため、403・A1地区へ213万3297ドルを交付。カメルーン政府とライオンズその他のNGOが連携して取り組む河川失明症コントロール・プログラムへの支援を継続し、各地域にヘルス・ワーカーらを育成するため、403・B地区へ87万5千ドルを交付。その他、エチオピア、ケニア、ネパール、インド、スリランカ、アメリカの各地区による申請事業に対する交付が認められた。

　ライオンズクエスト諮問委員会では、9件33万2406ドルの交付が承認された。このうち日本への交付は2件5万ドル。
▼333・D＝2万5千ドル▼334・E＝2万5千ドル

333・B地区ガバナー交替

3月に逝去された岡野光寿333・B地区ガバナーの後任に、08年度地区ガバナーを務めたライオン眞尾博（栃木県・足利ライオンズクラブ）が就任した。

会議録

■**第3回複合地区YCE委員長連絡会議**（2月19日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：河合悦子、古谷野環、佐々木光幸、金井一夫、松倉勇記、大塚豊三郎各委員長、正岡章、渡部雅文委員長代理）①春・夏期交換Ⓐ派遣生Ⓑ派遣生②その他

■**第8回ライオン誌日本語版委員会**（3月7日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：大熊泰雄、茂尾実、佐藤義則、大村行範、団英男、組嶽晶一、田崎登保各委員、荘英隆、小柴登司〈オンライン〉両ITアドバイザー）①2013・14年度ライオン誌日本語版上半期監査委員監査報告②ライオン誌日本語版事務所の運営③3月号（2月20日見本／9万9千部発行）出来④4月号記事内容の確認⑤5月号以降台割（案）と主要記事予定⑥その他

■**第8回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議**（3月14日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：佐藤精一郎、伊藤信賢、若木幹、小板橋欽也、柳原宏行、森本克幸、渡部雅文、鬼塚俊郎各議長、武久一郎国際理事、山浦晟暉GMT会則地域副リーダー）①春季国際理事会（サンディエゴ）報告②国際委員会事務局を日本ライオンズ連絡事務所内に設置する件③第53回OSEALフォーラム（仁川）第1回ステアリング委員会④第60回複合地区年次大会共通提案⑤報告及び確認事項⑥GMT関係⑦日本ライオンズ連絡事務所運営関係⑧各種委員会・会議報告

新結成クラブ

東京江戸川なでしこ（早川和江会長／23人）▼3月11日認証▼スポンサー／東京フロンティア

訃報

■**献眼者**
2月＝ライオン山本龍聖（石川県・鶴来）／ライオン山口勇雄（長崎県・川棚）
◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

11.交付された資金に関して、以下の処置を承認。
- ●317-E、323-G1及び325-A1の各地区に対し、2014年6月30日までにLCIFへ最終報告書を提出することを要請。期日までに提出されなかった場合、当該地区からのいかなるLCIF交付金申請の受付も、適切な報告書が提出されるか、もしくは交付された資金が返還されるまで一時停止となる。
- ●10907/321-C2交付金の適切な移管のための期日を2014年6月30日まで延長。
- ●305-S2、315-A2及び322-Dの各地区に対し、支給された緊急援助金それぞれ5千ドル、5千ドル、及び7,305ドルを、2014年6月30日までに返還することを要請。返還されなかった場合には、これらの地区からのいかなるLCIF交付金申請の検討も、2016年12月31日まで一時停止となる。
- ●323-B、316-H及び323-E1地区に対し、2014年6月30日までに適切な最終報告書を提出するか、もしくはそれぞれ5千ドルずつの交付金を返還するように要請。上記のいずれかが行われなかった場合、これらの地区からのいかなるLCIFの交付金申請の検討も、2016年12月31日まで一時停止となる。

12. 318-B地区からの交付金申請に対する検討の一時停止の期限を、2014年12月31日へ変更。
13. LCIF内規の役員及び委員会に関する記述に事務的な改訂。
14. LCIF運営方針書を以下の通り改訂。
- ●役員及び委員会の箇所に、会計補佐役に関する文言を加える事務的改訂。
- ●財務計画の記述箇所を、現在の財団の経費処理を反映するように補筆。
- ●記録及び保管の箇所を、文書保存に関する方針に則するように改訂。

リーダーシップ委員会

1. 2014-15年度から、空きがある場合に限り、資格のある現職ガバナーが講師育成研究会に参加出来るよう、関連する方針を改訂。
2. GMTとGLT の構成を改訂。2014-15年度から、複合地区GMT及びGLTコーディネーターの役職は、当該エリアを管轄するGMT／GLTエリア・リーダーまたは特別エリア・アドバイザーが二つ以上の複合地区を担当している場合にのみ設置する。GMT／GLTエリア・リーダーまたは特別エリア・アドバイザーが1複合地区のみを担当している場合は、この役職にある者が複合地区レベルの任務も担当することになる。

会員増強委員会

1. 文書による承認とチャーター申請書の提出、費用の支払い、及び国の登録の完了がされることを条件に、アラブ首長国連邦（U.A.E.）を新ライオンズ国とすることを承認。
2. 理事会方針書第18章C項4（第18章7ページ）の最後に「世帯主は他の会費割引プログラムを受ける資格をもたない」の文言を加える改訂を承認。
3. 理事会方針書第10章I項3（第10章16ページ）にある「会員増強・EXT委員会」の表記を変更。（日本語訳は変更なし）
4. 「国際家族及び女性コーディネーターは、国際会長の指示に従い、GMT・GLTコーディネーターと協力し、女性及び家族委員会を支援し、複合地区及び地区のスペシャリストをサポートする。」という文言を理事会方針書第10章I項3に加筆し、更に、理事会方針書第9章O項2.a.にある「国際コーディネーター」との文言の後に「と国際家族及び女性コーディネーター」という文言を付加。
5. 標準版クラブ付則第3条第4項（a）を以下の通り改訂。「(a) 国際理事会が要求する情報を含む、国際協会により指定された月例報告書及びその他の報告書を国際本部に提出する。」

PR委員会

1. ライオンズ・フロート社への毎年の寄付金を5万ドルに増額し、2016-17年度に関しては10万ドルに増額することを承認。
2. 「役職の順位」を改定し、LCIF、GMT、及びGLTのエリア・リーダーを元国際理事の直後に、複合地区委員長とコーディネーター（LCIF、GMT、及びGLTを含む）を前地区ガバナーの直後に位置付けることを承認。
3. 国際ウェブサイト及びニュースレター・コンテストの賞を楯から賞状に変更。
4. 既に決定された変更を反映させるべく、理事会方針書第20章から国際コンテストの記述を削除。

奉仕事業委員会

1. 2012-13年度トップテン・ユースキャンプ及び交換委員長賞を選定。
2. 慢性的に空席が出る状況を緩和するため、レオクラブ・プログラム諮問パネルの構成と推薦に関連する理事会方針を改訂。

※上記決議事項のいずれかに関する詳細は、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）でご覧頂くか、国際本部にお問い合わせください。

国際理事会決議事項要約

アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴ
2014年2月28日～3月4日

1.イタリア・ミラノを2019年国際大会開催地として選定。

会則及び付則委員会

1. 国際理事会方針書に含まれている、標準版地区会則第6条「役員及び地区キャビネット」第2項（5ページ）を改定し、表記上の誤りを訂正。
2. 国際理事会方針書第19章B項1とB項2を改定し、スコット・ドラムヘラーをライオンズクラブ国際協会の事務総長兼幹事に任命。
3. ガバナー協議会に協議会議長の罷免権限を与える一項を加える国際付則第8条改正案を、2014年国際大会へ提出する決議を採択。
4. 現職の地区ガバナーまたは元地区ガバナーが協議会議長を務めることが出来るように国際付則第8条第4項を変更する改正案を、2014年国際大会へ提出する決議を採択。
5. 国際付則第8条第1項の協議会議長の任務を改訂する改正案を、2014年国際大会へ提出する決議を採択。

地区及びクラブ･サービス委員会

1. 優秀賞の受賞要件を、研修やクラブの育成及び地区GMT／GLTコーディネーターの役割への認識を高めることを奨励する内容に改訂。
2. 各暫定地区から推薦されたライオンを、2014-15年度の地区ガバナーに任命。
3. 321-C1地区について、今年度残りの任期を務める地区ガバナーとしてグリ・ジャンメジャを任命。
4. 315-B3地区の地区ガバナーを解任。
5. 暫定地区の301-A3地区において地区ガバナー・チームが順調に定着していることから、同地区におけるコーディネーター・ライオン職を廃止。
6. 弱ったり困難を抱えているクラブに対して地区ガバナー・チームによる一層の支援が提供出来るように、新たに「優先クラブ」の位置付けを加えることによりステータス・クオに関する方針を改訂。
7. 国際付則に、協議会議長解任の手続きを加える改正を行うことを提案。
8. 国際付則に、現職地区ガバナーが協議会議長を務めることが出来るようにする改正を行うことを提案。
9. 国際付則を改正して複合地区協議会議長の役職を明確化することを提案。
10. 2014年国際大会の代議員によって前各項の改正案が承認され次第、国際理事会方針及び標準版複合地区会則の改訂を要請。

財務及び本部運営委員会

1. 黒字となる2013-14年度第3四半期収支予想を承認。
2. 2015-16年度の2回の国際理事会定例会議の暫定経費見積もりを承認し、執行役員の航空運賃は2015-16年度からそれぞれの旅行予算で賄うことを承認。
3. ホテルの請求書は今後地区ガバナー名で発行される必要がないようにする方針の改定を承認。
4. 理事会方針書第9章の「監査規定」という言葉を「地区ガバナー経費払戻しの方針」に変更。
5. 財務及び本部運営委員会が5年間財務予想を10月/11月理事会ではなく、年度末定例理事会で行うことが出来るように方針を改訂。

LCIF

1. 2014年4月から、ペリー・キャピタル・マネージメント/カラン・アソシエーツをLCIFの投資顧問として採用。
2. 2014年人道主義大賞受賞候補者として3人を推薦。国際会長が最終的に受賞者を選定。
3. チャウダリ財団とネパールのライオンズに対し、マイクロエンタープライズのパイロット･プログラムを支援するため 20万ドルを交付。
4. インドでのLCIF開発機能を拡大する計画と、その活動を支援するための予算としてLCIFから18万4千ドルを拠出することを承認。
5. ヨーロッパでのライオンズクエスト評価分析を支援するため、107複合地区（フィンランド）への14万7,158ドルの資金援助を承認。
6. 視力ファースト諮問委員会（SAC）の空席を補充するため、小椋祐一郎教授を投票権を有するメンバーとして選任。
7. 視力ファースト諮問委員会（SAC）の技術顧問に投票権を与えるようにLCIFの運営方針書を改訂。
8. 総額377万1,227ドルとなる合計79件の一般援助交付金、国際援助交付金、四大交付金申請を承認。
9. 6件の交付金申請を保留し、1件の申請を否認。
10. ケニア・ナイロビにあるMPシャー病院のマンモグラフィ・センター用に、6万6千ドルの理事会指定四大交付金を承認。

LCIF FILE

LCIF Development Update

LCIF Development Update

今年度献金状況と2月理事会で承認された日本への交付金

今年2月末のLCIF献金状況は、製薬会社から寄贈された薬剤などを金額換算した約800万ドルを含め、合計3200万ドルとなっています。国別献金額では日本が627万ドルで1位、次いで台湾が557万ドルで、OSEAL全体では1475万ドル、全世界の46％を占めています。

順調なはしか向け献金

ゲイツ財団からの要請でスタートした、はしかへの取り組みは、皆様のご協力により順調に進んでいます。開始以来、今年3月時点で総額2100万ドルのはしか向け献金が集まりました。国別では台湾が714万ドルで1位、2位が韓国の327万ドル、日本は僅差の3位で、323万ドルです。

2100万ドルのうち1170万ドルは既に支出済みで、現在利用可能な金額は930万ドルです。2017年まではしか事業に関する支出予定は、GAVIアライアンスへ3千万ドル（毎年750万ドル）、はしか／風疹イニシアチブ（MRI）400万ドル（毎年100万ドル）、接種地のライオンズの活動費300万ドル（毎年75万ドル）で、合計3700万ドルです。従って17年までの4年間にライオンズが集めなければならない金額は2770万ドルです。

GAVIアライアンスは3月14日、ライオンズクラブの協力を得られることになったとの記者発表を大々的に行いました。そのポイントは次の2点です。

1．ライオンズからの3千万ドルに対してゲイツ財団とイギリス政府共同のマッチング献金が行われるため、資金は合計6千万ドルの規模になる

2．予防接種では各地のライオンズが政府、自治体、地域への呼び掛けをしてくれるため、より良い成果が期待出来る

5歳児までの死因の5分の1は予防接種で防げると言われており、皆様のはしか向けの献金が多くの子どもの命を救うことになります。

2月理事会で承認された交付金

通常、春の国際理事会は4月開催が多いのですが、今回は2月末となり、日本からの申請7件は全て認められました。

❶県立病院救命センター向け超音波画像診断装置（2万5千ドル／332‐A地区）
❷仰臥式入浴装置（1万5700ドル／332‐D地区）
❸フィリピンの助産院改修（2万ドル／334‐A地区）
❹未就学発達障害児用訓練用具（2万ドル／334‐A地区）
❺ミャンマーにおける小学校の建設（1万ドル／334‐E地区）
❻盲導犬犬舎の修復（6万5千ドル／335‐A地区）
❼特別支援学校への訓練用機材の寄贈（8280ドル／335‐D地区）

このうち❺は、実施国ミャンマーにはライオンズクラブが存在しないため申請の分類はB、その他は全てA分類でした。

なお、❼の申請については、地区コーディネーターを通じて申請クラブと数回にわたるやり取りがありました。最初の案は特別支援学校にグランドピアノの寄贈ということでした。しかし、LCIFとしては、グランドピアノは豪華過ぎますし、実際に生徒さんが弾く機会は少ないと考えました。そこでより多くの生徒の参加が可能な電子ピアノ5台という対案を出したのですが、本物の音を聞かせたいというクラブの強い思いもあり、最終的にはアップライトピアノとマリンバ及びビブラフォンという形での申請となり、今回承認されました。地区LCIFコーディネーターの方は、クラブとLCIFの間に入りに調整に苦労されたと思います。

6月18日には名古屋で次期LCIF地区コーディネーターのための講習会が予定されています。来期、この役に就かれる予定の方の参加をお待ちします。

（資金開発課／田辺憲雄）

LCIF Development Update

ベトナム・ホーチミンで中学校校舎を建設

愛知県・豊橋中ライオンズクラブ（中神佐武郎／31人）は結成30周年記念事業として、ＬＣＩＦ一般援助交付金を受けてベトナムの中学校に校舎を建設しました。支援したのはホーチミン市郊外にあるフック・ヒエップ中学校で、3教室を増築し、トイレを新築しました。

　この事業の発端になったのは、最近、日本に来るベトナム人留学生の数が中国に迫るほど増えているという新聞記事でした。真面目で向学に燃える彼らのために、クラブとして何か役に立てることはないかと昨年春から検討を始めました。そんな中、当クラブの会員がホーチミンを訪問してある中学校を見学しました。隙間なく机が並んだ教室は明らかに大幅な定員オーバーで、子どもたちは一生懸命なのに、満足に勉強出来ていない状態でした。帰国した会員から報告を受けて、この中学校に教室を増築する事業を計画しました。

　事業費は総工費約300万円（3万ドル）に送金手数料、為替レート差額などの諸費用を含めた約320万円（3万2千ドル）で、地区キャビネット会議の承認を経てＬＣＩＦ一般援助交付金1万5千ドルを申請し、承認されました。

　我々は当初から中学校校長と相談しながら計画を進め、そのまま順調に事が進むものと思っていました。しかしベトナムは社会主義国ということもあり、国の役人との話し合いに何かと無理が生じて、申請や工事などがうまく進まなくなりました。そこで国際交流を推進する県の担当課に相談すると、ベトナム大使館を紹介してくれました。早速、東京にある大使館へ出向きそれまでの経緯を報告したところ、その後はスムーズに進むようになりました。

　今年に入ってベトナムから連絡があり、3月27日に竣工出来る運びになりました。当クラブからは中神会長始め5人の会員が贈呈式に出席して引き渡すことにしました。

　中学校のあるフック・ヒエップ村はホーチミンの中心部から車で1時間半ほどの所にあります。日本から訪れた我々を、在校生による音楽隊と歌、踊りが迎えてくれました。地域の幹部の人たちや先生、生徒約250人が見守る中、中神会長は、「我々日本のライオンズクラブがベトナムで将来に無限の夢を持って勉学に励んでいる中学生のために校舎を提供出来て、本当にうれしく誇りに思います」とあいさつしました。テープカットに続いてクラブとＬＣＩＦの名称が記されたステンレス製のプレートを設置。新しい校舎内を案内され見学し、その後はジュースと美酒で乾杯をして、祝宴に入りました。

　ベトナム（越南）の国名は、中国の南方地域が昔から「越」と呼ばれ、その南に接する地方であることに由来します。ベトナム人は体付きは我々と同じ系統で、言語はシナ・チベット語あるいはタイ語やそれにモン・クメール語の入り交じった複合的言語を用います。13世紀には漢字から借用されたチュノム（字喃）文字によって書き言葉が作られており、豊かな言語を発展させた人々です。仏教、儒教、道教の広まった文化圏に属していて、日本と共通する民族文化を見いだすことが出来ます。70年代に南北を統一してベトナム社会主義共和国となり、日本との国交はちょうど昨年、2013年に40周年を迎えました。今後更なる経済発展と文化交流の時代を迎えています。

　ベトナムにはまだライオンズクラブが存在していませんが、親愛なる友情をもってベトナムの人々と共に歩めることは我々にとって大きな喜びであります。

（小田壽典）

CLUB REPORT クラブ・リポート

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。
ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。
送付先は57ページ下。

332-D地区

福島県・本宮ライオンズクラブ

全て会員と会員夫人の手づくり 障害者招待そば打ち例会

3月20日、福島県本宮市にある青田農業構造改善センターにはそばのおいしそうな匂いが漂っていた。この日は本宮ライオンズクラブ（渡辺仁会長／40人）のそば打ち例会。知的障害者施設すばると就労継続支援事務所ふれんどり一大玉の障害者の方80人に会員がそばを打って振る舞う事業で、今年で15年目の実施である。提供するそばは、そば粉をこねるところから切るところまで全てメンバーの手によるもの。また、そばつゆもメンバーの夫人らが出汁をとって作っている。

この事業が始まったのはライオン小林清三が会長を務めていた時のことだ。ライオン小林は新会員歓迎式の際に、会津坂下のそば職人を集め、そばをその場で打ってもらった。それがメンバーからも好評を博した。だが、冬に会津坂下から山を超えて来てもらうのは大変なことだった。そこで会員がそばを打つ今の形に。せっかく会員が作るのならば、と知的障害者施設すばるの人を招いたのがきっかけで毎年の事業となった。今ではこれらの施設の人たちが毎年楽しみに待つ恒例行事となっている。

安達太良山麓の奇麗な水で育てられたそばの実から作られるそばは絶品。温かいそばつゆは本宮烏骨鶏をふんだんに使用して出汁をとったものだ。この日用意したのは約240食。何度もおかわりをしてほしいという気持ちから、クラブでは多めに

用意をしている。それだけの量を準備するため、午前3時からそばを打ち始めた。

実はこのそば打ち例会、過去15回のうち、一度だけそばの代わりにおもちを提供したことがある。だが、障害者の中にはそしゃくが弱い人が多く、危険だった。そこで再びそばを打って提供する形に。そばは短めに切り、そしゃくが弱い人でも食べやすくした。また、当初は烏骨鶏の肉を使うことも検討したが、肉が固めなので出汁だけにとどめ、具材には柔らかい鶏肉を選んで使用している。この鶏肉もゴボウとネギ、調味料と一緒に煮込んで下味を付けるなど、細部まで手間が掛けられている。

障害者の人たちが到着するとメンバーが次々にそばを配る。受け取ったそばを食べる皆の顔はみるみるほころんでいった。おかわりをする人に対しては温かいそばか冷たいそばか希望を聞く。盛りつけから何から全てメンバーで役割分担をして効率良くそばを配っていく。

また、青田農業構造改善センター周辺のゴミ拾いと清掃もそば打ち例会と併せて実施するのが恒例。この日は雨のため時間と規模を短縮しての実施となったが、毎年欠かさず行っている。

本宮ライオンズクラブでは今後もそば打ち例会、清掃作業共に継続していくつもりだ。

(取材/井原一樹　撮影/関根則夫)

北海道・帯広かしわライオンズクラブ

第15回帯広かしわライオンズクラブ青少年文化音楽祭

2月8日、帯広かしわライオンズクラブ（38人）は第15回帯広かしわライオンズクラブ青少年文化音楽祭を帯広市民文化ホールで実施した。青少年育成事業ではスポーツに目が行きがちで、文化面での支援が少ないように思われた。そこで当クラブでは情操教育の一環としてこの青少年文化音楽祭を1999年から実施している。初期に参加した子どもたちはもう社会人になっているが、今も観客として後輩たちの演奏に惜しみない拍手を送ってくれている。

この演奏会の出演者は幼稚園児から中学生までの子どもたち。彼らにとって、日頃の成果を発表すると共に、世代を超えた交流が出来る機会にしようと実施している。数年前からはゲストにコンクール受賞校やプロの演奏家などを招いている。今年は池田高等学校吹奏楽部をゲストに呼び、YouTubeで話題となった、演奏しながら踊るダンプレ演奏を披露してもらった。

将来を担う青少年は、さまざまな可能性を秘めた掛け替えのない財産である。当クラブでは文化振興・スポーツ・地域活動を青少年健全育成事業の重要な柱として位置付け、実施している。この青少年文化音楽祭には15年間で約7千人の子どもたちが参加している。今後も子どもたちが日頃の成果を発表する機会となるこの音楽祭を実施することで、技術向上の一助として貢献出来れば幸いだ。

時代と共に奉仕の在り方も変わっていくが、これからも地域との共存を大切にし、実りある奉仕活動を展開していく所存である。

（会長／吉岡秀樹）

愛知県・幸田ライオンズクラブ

カンボジアで初めての試み 小学校の運動会を実施

1月14日、幸田ライオンズクラブ（石川龍介会長／21人）は2009年にLCIFの一般援助交付金で建設したトラキエット小学校に行き、運動会を開催した。

建設以来、当クラブでは毎年ここを訪問し、幸田町の小学校で集めてもらった学用品や楽器を寄贈したり、修学旅行や音楽教室、習字教室を開催したりしている。今年は今までにカンボジアの小学校でやったことのない運動会をやろうと考えた。

だが、運動会をやろうにもカンボジアの小学校には日本の学校のようなグラウンドはない。そのため、どこでやるかが問題となった。そこで急きょ、校舎の前に約30メートルのコースを作った。次に問題となったのはどんな種目をやればいいか、ということだった。何せ生まれて初めての運動会だ。先生も生徒も種目を何も知らない。そのため、簡単な種目を選んだ。1年生は飴食い競争。2年生はパン食い競走。3年生が玉運び競争で4年生は徒競走だ。5・6年生は二人三脚を実施。最後に学年合同リレーを行った。いずれもメンバーが見本を見せて教えた。だが、最後のリレーは難関だった。バトンを渡すことなど基本的なルールがなかなか理解してもらえず、教えるのにかなり苦労した。何とか実施したところ子どもたちも先生も大興奮。初めての運動会は楽しく大成功に終わった。また、滞在期間中には音楽教室や習字教室も行うことが出来た。

子どもたちにとってこの運動会の日が一生忘れられない思い出になったことをメンバー一同、確信している。

（PR・IT委員長／尾山剛）

336-C地区

広島双葉ライオンズクラブ

物故ライオン追悼例会 ご遺族を招いて故人をしのぶ

2月28日、広島双葉ライオンズクラブ（39人）は例会で物故会員の追悼式を行った。以前、宮司様に祭詞（のりと）をあげて頂いたことはあったが、初めての試みだ。物故者のご遺族にご案内を出したところ、9人が出席してくれた。

式は僧侶だった物故会員のお孫さんが、お寺を継いでおられるため、読経と法話をお願いした。会場の都合で焼香は出来なかったが、ご家族全員が献花。また、ご遺族代表のあいさつ、続いて会員代表者による物故者の紹介と謝辞が述べられた。

ご遺族代表のあいさつでは、故人が大変ライオンズクラブを好きだったということ、メンバーと豪快にお酒を飲んだり、ゴルフをしたり、旅行に行ったりしたこと、奉仕活動も熱心にしていたことなどが話された。物故会員との懐かしい思い出がよみがえり、胸が熱くなり、現会員はとても勇気付けられた。

ご家族を囲んでの会食では、物故者一人ひとりの思い出を語って頂くことが出来た。

故人が例会に行くのを楽しみにしていたこと。ご家族でYEの受け入れの協力をしてくださったこと。積極的にライオンズの活動に取り組んでいたこと。活動を通じて多くの仲間が増えたこと。これら故人のエピソードを聞き、懐かしい気持ちになると共に、やはりライオンズの活動はご家族の協力が大切だと実感した。

最後にご家族に対しライオンズクラブへの入会のご案内もした。このご縁が続くことを願うと共に、ご出席頂いたご家族の方々に感謝している。

合掌　（会長／児玉賢司）

334-C地区

静岡県・浜松南ライオンズクラブ

浜松視覚特別支援学校に 触図筆ペン「ラピコ」を寄贈

浜松南ライオンズクラブ（髙野宏会長／43人）は浜松視覚特別支援学校にラピコを2セット寄贈した。これは、インクの代わりにろうを使用した特殊ペンみつろうくんを改良したもので、目が見えなくても描いた線を触って確認出来る。寄贈に際して、以前ライオン誌（2010年12月号）で紹介された千葉県・市川ライオンズクラブから話を聞いた。更に4年ほど前から導入している千葉盲学校も訪問。先生や生徒さんから話を聞き、実際に描かれた作品を見せて頂いた。また、製作メーカー、安久工機を訪ね、安全性や性能を確認させてもらった。同社の田中隆社長には浜松視覚特別支援学校で使用方法の直接指導もして頂いた。

3月6日の第1例会では贈呈式を実施。生徒5人と引率の先生3人が参加してくれた。例会に目の不自由な方をお迎えするのは初めてのことだが、子どもたちが社会に対して恐怖心を持たないよう名札には点字を入れ、料理も工夫するなど細心の注意を払った。贈呈式では生徒会長の山田省吾君が自分の名前を漢字で書き上げ「触って確認が出来、書いた実感がある。とても楽しい」と喜んでくれた。また、このお礼として日ごろ学校で修業しているマッサージを生徒たちが実施してくれた。

これをきっかけに視覚特別支援学校と交流を深め、事業の質を高めていきたいと思う。ライオン誌の活用や、他のクラブのノウハウを学ぶことで、クラブの可能性が広がると実感した。この事業に興味を持ったクラブはぜひ気軽に問い合わせを。（IT・情報PR委員長／吉田孝行）

334-B地区

三重県・四日市みなとライオンズクラブ、四日市北ライオンズクラブ、四日市TENライオンズクラブ

合同事務局設置後初の合同事業 船で行く親子のきずな発見ツアー

三重県で県庁所在地の津市を上回り、最も人口が多い四日市市。ここには10のライオンズクラブがあり、活動している。だが、近年は会員減少に頭を悩ませるクラブが多い。

危機感を持ったリジョン・チエアパーソン（当時）のL稲垣昭は合同事務局の設立を提案。運営費を抑えることで人数が少ないクラブも奉仕に注力出来るようにとの思いからだった。だが、それぞれのクラブでは異なる歴史、背景があり、運営の仕方も多岐にわたっていた。そのため、賛同したくとも出来ないクラブもあった。しかし、L稲垣らの尽力により、2012年7月に四日市みなとライオンズクラブ（日紫喜重紀会長／36人）、四日市北ライオンズクラブ（落合靖会長／30人）、四日市TENライオンズクラブ（古市光明会長／23人）の3クラブ合同事務局が発足した。

事務局が合同になったことで事業も一緒に出来れば、という話が、毎月1度実施している合同事務局会議で持ち上がってきた。3クラブ合同となれば、1クラブではなかなか出来ない規模の事業も実現出来る。3クラブはどんな活動にするか、検討を重ねてきた。

そこで白羽の矢が立ったのが、四日市みなとライオンズクラブが昨年、50周年記念事業として単独で実施した船で行く親子のきずな発見ツアーだ。これは貸し切ったフェリーに親子を乗せ、四日市港から出発し、名古屋港沖を折り返して再び四日市港に戻って来るもの。船上ではロープの使い方体験や船内見学を実施した。周年事業ということで実施した四日市みなとライオンズクラブだが、毎年行うのは予算的に難しかった。だが、反響は大きく、今年の実施を望む声が多かった。1クラブでは難しい事業だが、3クラブで実施するならば不可能ではない。こうしてこの事業が合同事務局設置後、念願だった3クラブ合同事業の第一歩目となった。

四日市みなとライオンズクラブがフェリーでのツアーを周年事業で実施したのには、04年に発効した改正SOLAS条約の影響で港湾地域への立ち入りが規制されたことによる影響が大きい。四日市は工業の町だ。四日市港も明治期から発展してきており、市民にもなじみの深い港だった。が、改正SOLAS条約で立ち入りが規制されてしまい、船に乗ったり港を訪れたりしたことがない子どもたちが増えてきた。せっかく港のある町に住んでいるのだから、四日市港にも親しんでもらおうと企画したのがフェリーでのツアーだったのだ。

この事業は伊勢湾フェリー㈱の協力の下、実施されている。安全確保などプロに任せた方がいいとの判断から、船上でのプログラムは伊勢湾フェリー側に考えてもらっている。ライオンズは教育委員会や四日市港管理組合などとの対外交渉を行っている。お互いが得意な分野を担当することで、スムーズに事業が実施出来ている。また、船内のテレビで薬物乱用防止の映像を流してもらうなど、ライオンズの活動をPRするには絶好の機会となっている。

3クラブは今後も、船内で子どもたちに何を提供するかなどを検討し改善しながら、この合同事業を継続していく予定だ。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

名港中央大橋の下を通過。普段見られない橋の下からの光景に大喜び

334-D地区

福井ライオンズクラブ

国際貢献事業として
カンボジアの小学校へ図書館寄贈

　福井ライオンズクラブ（野坂鐵郎会長／88人）は今年度、会長スローガン「地球愛、地域愛、隣人愛の心で、ウィ・サーブ」を基本にしている。そこで地域への奉仕と共に、世界にも目を向けた国際貢献事業としてカンボジアのオー・タキ小学校へ図書館を寄贈した。この事業はLCIFの一般援助交付金事業で、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）の協力で行われた。また、2月8日には大野ライオンズクラブ、プノンペンのオーバイコーンライオンズクラブと協力し、図書館、図書館用家具、備品、図書教材、文具類の贈呈式を行った。また、福井市麻生津小学校の生徒たちが作ったビデオメッセージや絵画も寄贈。小学校同士の交流のきっかけになれば幸いだ。

　オー・タキ小学校はカンボジア第2の都市バッタンバンの近くにある。シェムリアップ市内からはバスで3時間30分。到着した私たちを児童たちが出迎えてくれた。式典には州・郡の行政関係者など約400人が参加。当クラブと大野ライオンズクラブは、メンバーがクメール語の翻訳シールを貼った絵本を寄贈した。

　テープカットが終わると子どもたちは図書館へ駆け込み、次々と本を読み始める。何人もで1冊の本を囲む姿もあり、図書への関心の高さを実感した。

　この日は交流プログラムとして絵本の読み聞かせや大縄跳びも実施。気温30度を超える暑い日だったが、子どもたちと楽しい時間を過ごすことが出来た。

　当クラブでは今後もこの交流が続けられるよう努力していく。

（幹事／髙木智之）

334-B地区

岐阜県・高山ライオンズクラブ

被災地派遣の教師から
「感謝」の心を学ぶ

　東日本大震災から丸3年が経とうとしている3月9日、高山ライオンズクラブ（竹内好雄会長／55人）は講演会「〜あれから3年　震災を忘れない〜　東日本大震災を南三陸町から考える」を開催した。この講演には市民、会員合わせて約120人が参加。講師をお願いしたのは、2013年3月まで1年間にわたり宮城県南三陸町の志津川中学校に派遣され、3年生のクラス担任として教鞭を執られた齢（よわい）30の若き理科教諭、都竹（つづく）雅人さん。現在は高山市内の中学校に勤務されている。

　都竹先生は、被災地の子どもたちが苦しい状況下でも常に感謝の気持ちを忘れていないことや、彼らがたくましく成長し、卒業していく姿を、写真や映像、生徒の手記などを交えながら紹介。笑顔で学校生活を続ける子どもたちの存在が被災地の勇気となっていること、まさに「子どもは地域の宝」であることを聴講者に力強く訴えてくれた。

　また、被災地派遣中にがんで亡くなったお母さんからご自身へ送られた手紙も紹介してくれた。病気に侵されながらも、遠く離れた被災地に派遣中の息子を思うお母さんの手紙には息子への感謝の気持ちがつづられており、会場は感動に包まれた。

　教え子の高校入学試験や卒業式を間近に控えた忙しい時期に、講演を二つ返事で引き受けて頂いた都竹先生を始め多くの方に感謝を申し上げたい。

　なお、この講演会の模様は、地元ケーブルテレビで、震災から丸3年目の3月11日に1時間の特別番組で放送された。

（計画委員長／中田啓寿）

333-A地区

新潟県・三条ライオンズクラブ

ミニバス大会を開催

2月16日、三条ライオンズクラブ（吉田恒夫会長／57人）は新しいアクティビティとして三条ライオンズクラブ杯ミニバスケット大会を開催した。会場となった三条市栄体育館には朝早くから小学生選手たちが集まり、彼らの放つ熱気で包まれているようだった。

開会式では三条市立栄中学校吹奏楽部による勇ましい行進曲が演奏され、いよいよ選手入場。胸を張って入ってくる選手たちの目の先には真新しい優勝カップが光っていた。

当クラブでは「児童生徒に対する健やかな育成のための支援援助」をアクティビティの中心に置いている。中でもメンバーが特別支援学級の生徒たちと直接触れ合って交流する野外学習「チャレンジ教室」は、既に今年で37回を数えている。

本年度は吉田会長の下、「クラブの活性化と対外的なアピール」を目指し、新たなアクティビティを模索してきた。その結果、当地域で盛んなミニバスケットボール（ミニバス）の大会が適しているという判断になり、実施することにした。

初開催となった大会には6クラブが参加し、195人の選手がエントリーした。ミニバスは普通のバスケットボールに比べてコートを小さくし、小学生がプレーしやすくしたものである。まだ背の低い低学年の児童から中学生並みの大きな子までみんな等しく1個のボールを追い掛けて走り回る。気分はアメリカのプロバスケットボールリーグNBAの選手のようだ。

会場には1日中選手やコーチの声、父兄たちの応援が響き続けた。栄えある第1回の優勝カップを手にしたのは、男女とも「ルーキーズ三条」。だが、勝ったチームも負けたチームも子どもたちの目は輝いていたように思う。この大会が子どもたちの健やかな成長に少しは役に立ったのではないだろうか、という実感を胸に、大会開催の意義を噛みしめた。

（教育奉仕委員長／加藤一芳）

333-C地区

第8リジョン第3ゾーン（千葉県）

神津島ライオンズクラブ チャーター・ナイトを迎え

1月30日、東京都・神津島ライオンズクラブ（浜川謙夫会長／20人）のチャーター・ナイトが行われ、長澤千鶴子元地区ガバナーらが出席した。神津島は伊豆七島の中程に位置する人口2千人の村だ。奇麗な砂浜、島ならではのダイビングスポットや飛び込み台、海上散歩が楽しめる岩場などがあり、年間4万人の観光客はほとんどが夏に訪れる。

数年前、副村長であったライオン浜川から「島の子に蛍を見せたい」との話が持ち込まれた。その橋渡しとなったのが千葉県・四街道順天ライオンズクラブのライオン角河博文で、蛍に詳しい白子ライオンズクラブのライオン榊田輝雄、ライオン蒔田敏が4年前から島を訪れ、環境整備に当たってきた。そのかいもあり、昨年念願の「神津島蛍祭り」を実施。子どもたちに蛍を見せることも出来た。ここからエクステンションの話が加速。昨年の年次大会では神津島ライオンズクラブ結成に向け、会長に就任する浜川副村長を始めとした3役が参加。親交を深め、6月20日にクラブを結成した。

しかし、そこからライオン浜川は国体ビーチバレー会場準備、台風被害復旧作業等、現役の副村長としての激務が続き、時間の調整が難しかった。だが、ついに晴れて待ちに待った日を迎えることが出来たのであった。

式典では若き新メンバーたちの熱き思いも伝わり、うれしさと力強さを感じた。

伊豆七島の神々が集まったとされる神話の島、神津島。今後、ここを訪れ交流することによって、このご縁と結ばれた絆も強まるだろうと思った。

（地区運営特別委員長／吉野みどり）

330-A地区

東京北ライオンズクラブ

ラオスで桜の植樹 セレモニーには前首相も

2月23日、東京北ライオンズクラブ（岡部弘会長／38人）の6人は桜の植樹のため、成田空港からラオスへ飛び立った。23日はベトナム・ハノイを経由してラオスの首都ビエンチャンに入った。24日は15人乗りのプロペラ機でラオス北部のサムヌアへと向かい、6時からフォアパン県知事による歓迎パーティーに出席。関係者と通訳を介して歓談した。ようやく25日に植樹する公園へ車で14時間かけ到着した。

今回は、桜10本のみを植樹することにした。これは公園の土壌が桜に合わないため、土を改良してから来年移植した方が良いという判断だ。そこで、造園の専門家である奥田龍司さんの指導の下、仮植えを行った。

セレモニーではフォアパン県の知事、副知事、前首相のブアソン氏を含む地元の人たち４００～５００人が参加。当クラブのメンバーはライオン帽とハッピを着用して出席した。

式典では日本大使館の堀越久男一等書記官が安倍晋三首相のあいさつを代読。ラオス側は前首相があいさつをしてくれた。

最後にフォアパン県知事に桜の楯と、桜の花をガラスの中に入れた置物、東京北ライオンズクラブのバナーをお贈りした。セレモニーの最後は2人1組で桜の苗木を植樹した。その後、現地の人たち40人くらいと当クラブとの懇親会を開き、交流を深めた。

26日はサムヌア空港からビエンチャンに向かった。ビエンチャン到着後はすぐにラオス日本大使館にあいさつと報告を兼ねた表敬訪問を実施し、その後、帰途に就いた。日本に着いたのは27日の朝7時だった。

336-A地区

香川県・丸亀京極ライオンズクラブ

丸亀市民会館に響く 讃岐太鼓の演奏

2月23日、丸亀京極ライオンズクラブ（73人）は第21回讃岐太鼓のつどいを丸亀市民会館で開催した。この事業はクラブ結成10周年記念事業の一環として始め、毎年1回行っている。１３００人収容の市民会館は毎回満席で県外からも観客が訪れる。

城下町である丸亀市は、県内でも郷土芸能への関心は高い地域。讃岐太鼓も市民に広く親しまれており、市内には太鼓グループも多い。また、幼稚園、学校でも情操教育の一環として取り入れられている。お祭りやイベントでは必ずと言っていいほど太鼓の演奏がある。

実はこの事業、目的を達成したとして一時期は中断していた。だが、県内の太鼓グループから発表の場が欲しいとの要望があり、結成35周年を機に再開した事業だ。21回目となる今回は丸亀市国際交流の外国人留学生などを招待した。留学生からの評判も上々。太鼓の魅力は国を超えて伝わると実感した。

開催までは新聞社など各関係機関への後援依頼や出演グループの決定、ポスター立案作成、演出シナリオ作成、広報などさまざまな作業がある。出演グループの決定後は練習風景を見学し、出演順を決定するなどクラブ一丸となって準備をしてきた。また、本番中はスモークマシンなどの操作もメンバーが担当。好評に、数カ月にわたった皆の努力も報われた。

今後も郷土芸能を引き継ぐ育成の場としてこの事業を継続すると共に、地域に親しまれるクラブならではのものとして発展させていきたいと思っている。

（会長／松原純一）

331-A地区

北海道・サッポロシニア ライオンズクラブ

札幌市内4クラブ合同で薬物乱用防止ポスター展

今や、北海道一の目抜き通りになった札幌駅前通りの地下歩行空間で3月7～9日、薬物乱用防止のポスターコンクール展が開かれた。主催したのは、札幌オーロラライオンズクラブ（松橋謙一会長／27人）、サッポロシニアライオンズクラブ（吉田英則会長／30人）、札幌中央ライオンズクラブ（尾池一仁会長／17人）、札幌はまなすライオンズクラブ（山崎晴生会長／5人）の4クラブと市PTA協議会だ。

5回目の開催となった今回は市内の中学生からポスターの募集をした。結果、21校から203点の応募があった。作品には、「ダメ。ゼッタイ。」という標語を入れる決まりになっている。最優秀賞は向陵中2年山口夢乃さんの作品で、印刷して配布、市内の中学校やススキノのビルなどに貼られる。この作品は、少女が悪魔に腕をつかまれて、薬物の錠剤を口にしているというもの。また腕には注射痕が描かれていた。他にも優秀賞9点、入選20点、佳作50点など全作品が展示された。どの作品も薬物の怖さを訴える力作ばかりだ。

地下歩行空間は3年前に開通した札幌駅前から繁華街までの約500メートルの区間。1日に約7万人が通る。特に冬場は屋外を避ける人が多いため、通行量が増える。通りがかった人たちは作品を見て「恐ろしいですね」「中学生が描いたのですか。上手ですね」と感想を述べていた。

この薬物乱用防止のポスターと合わせて、ライオンズ国際平和ポスター・コンテストの応募作品30点も展示。多くの人にライオンズの多彩な事業をアピールした。（実行委員長／酒井渉）

335-C地区

奈良ライオンズクラブ

第37回ライオンズクラブ杯 奈良市学童軟式野球大会

奈良ライオンズクラブ（野村安忠会長／45人）は3月1日、2日、8日、9日の4日間にわたって第37回奈良ライオンズクラブ杯奈良市学童軟式野球大会を実施した。これは毎年、子どもたちの健全な育成を目的に開催しているもので、青少年育成事業の柱となっている。

この大会は6年生が卒団した後、新チームで初めて参加するトーナメント大会であり、シーズンの開幕戦としても注目が集まる。今年は26チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

仲間と力を合わせ、ミスを恐れず積極的にプレーする子どもたち。どの試合も手に汗握る熱戦で、子どもたちが元気いっぱい躍動する姿が見られた。優勝チームは奈良市代表として3月に開催された春の奈良県大会（全国大会予選）に出場した。準優勝と第3位のチームは春季北和大会（県北部の大会）への出場権を得た。

当クラブでは、この他にも今年で38回を数える少年剣道大会や10回目となるミニバスケットボール大会を毎年開催している。

今年度は3大会で合計1200人以上が参加するなど市内の青少年の大会で重要な位置を占めている。いずれの大会も、メンバーが積極的に運営に関わることで大変意義のある事業となっている。子どもたちもスポーツを通じて多くの学びと経験を得ると共に、深い友情と楽しい思い出を培ってくれている。今後もこれらの大会を通じて、子どもたちが未来に向かって大きく成長してくれることを願っている。（レオ・青少年育成委員会／池田慎久）

333-E地区

茨城県・水戸ライオンズクラブ

50周年を迎え更なる飛躍を期す

水戸ライオンズクラブ（大久保雄司会長／58人）は2月21日、結成50周年記念式典を、JR水戸駅に近いホテルレイクビュー水戸で開催。橋本昌茨城県知事、高橋靖水戸市長を始めとする大勢のご来賓、並びに橘大造333・E地区ガバナー、大祢廣伸、下川利澄両副地区ガバナーらキャビネット役員、更にはスポンサー・クラブ、姉妹クラブ、ブラザー・クラブの会員など、約180人の方々にご出席頂いた。

当クラブは、終戦詔書の草案を作成された迫水久常元国際理事（東京ライオンズクラブ）が、302・E1地区ガバナーを務めておられた1964年に、東京堀留ライオンズクラブのスポンサーで結成された。翌年に開催されたチャーター・ナイトは、NHKの顔であった宮田輝アナウンサーが司会を務め、三橋美智也やザ・ピーナッツが出演するという豪華なものだった。

その後、地域に密着したアクティビティを実施する傍ら、エクステンションにも積極的に取り組み、大洗、常陸太田、那珂湊、古河、鹿島、鉾田の6クラブを結成。また、韓国・ソウル南山ライオンズクラブを始め、国内では福井県・敦賀、香川県・高松、滋賀県・彦根の各クラブと姉妹提携を結び、ライオニズムの高揚に努めてきた。

今回の50周年に当たっては、チャーター・メンバーとして、そうした過去の歴史を熟知されている幡谷浩史元地区ガバナーを実行委員長に、会員の総力を挙げて準備に取り組んだ。テーマは「50年の軌跡　未来のために　これからも」。そしてテーマの通り、記念事業は未来志向を前面に押し出し、青少年関連に主眼を置いた。中でも、市内4小学校に対する活動では、校舎内の塗装や補修、校庭への遊具の搬入及び組み立てなど、会員が力を合わせて完成させた。

記念事業はこの他、小澤征爾氏が館長を務める水戸芸術館への各種設備寄贈や、全国盲導犬協会、水戸市中学生ソフトテニス大会、茨城県バレーボール協会、水戸市ジュニアゴルフ大会、茨城県アイバンク、茨城いのちの電話、児童養護施設みどり園、茨城新聞文化福祉事業団、水戸市社会福祉協議会、日本赤十字社を対象にした各種アクティビティ、更には中古眼鏡のリサイクル活動も実施。50周年テーマのごとく、これからも未来に向けて、会員一同、奉仕の心で前進を続けていく所存である。

（結成50周年記念誌部会）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

青少年のいじめ問題に取り組む

庄子 守（東京ウエスト）

2013年12月11日、330-A地区は「元気に仲良く、いじめのない青少年健全育成教室」を開催致しました。東京都教育庁指導部の池口洋一郎様による基調講演「東京都におけるいじめ対策と緊急調査の概要」を始め、渋谷区教育委員会指導室長の大宇光一郎様、渋谷区議員である下嶋倫朗（東京渋谷ライオンズクラブ）による、いじめ防止対策についての講演などが行われました。

私は今期、330-A地区青少年健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員長を拝命しております。2013年4月に鈴木定光第1副地区ガバナー（当時）から打診され、お受けしたものです。

ライオンズクラブはサッカー大会や野球大会を主催したり、薬物乱用防止教室を開催するなど、さまざまな活動をしています。私は現在の青少年を取り巻く環境を考えた場合、いじめ問題への対処も大切なのではないかと思っていました。子どもたちのために、いじめの無い健全な環境が作れないか。いじめが発生し深刻化してからでは、我々ライオンズが全面的に関わることは難しくなってしまいます。そうなる前に何とかしようと思って、取り組みました。

文部科学省の問題行動調査によると、12年度に全国の国公私立の小中学校などが把握したいじめの件数は、前年度の2・8倍に上ったとのこと。これは相当深刻な状況です。教育委員会の方々に伺ったところ、先生方だけで解決するのはなかなか難しいようです。そこで、社会でさまざまな経験を積んだ、外部の大人であるライオンズ・メンバーが、子どもたちにいろいろなアドバイスや話をしてはどうかと思いました。いじめの無い社会にするために、我々自身が行動しなくてはなりません。その一環として開催したのが、今回の「いじめのない青少年健全育成教室」でした。

また先般、大変すばらしい話題が日本経済新聞に掲載されていました。杉並区では中学校の生徒たちが、小学校へ行って自分のいじめ体験を踏まえて

イラスト／小川和政

話をしていると。身近なお兄さん、お姉さんたちが「一緒にいじめについて考えていきましょう」と、小学校の児童を指導しているというのです。ライオンズクラブでもゾーンやリジョン、区や町、市などの単位で教育委員会とタイアップし、学校と連携しながら、いじめ問題を解決するためのバックアップが出来たらと考えました。

いじめの問題には学校でも教育委員会でも頭を痛めています。子どもたちが健全な生活を送り、健やかに成長していける環境を作る上で、ライオンズがその一翼を担えたらと思います。そのために、より多くの皆様のご理解を頂き、クラブで取り組んで頂けるように、残る任期中も青少年健全育成教室を開いていきたいと思っております。

献眼活動に思う

土江　広江（島根県・平田）

年が明け松飾りの取れる頃のある明け方、携帯が鳴った。瞬時に姉のことが頭をよぎった。

恐る恐る電話を取ると甥が、

「母が息を引き取りました。献眼どうしましょう」

予感通りの知らせと、思わぬ甥の言葉。来たかと思う悲しみの中で、「献眼」という言葉に現実に引き戻された。

至急手配するので、お医者様には献眼の旨を話して、眼を大事にしてもらうようにと甥に伝えた。すぐに例会誌に記載されている「しまねまごころバンク」に電話をして献眼を申し出た。

40分後、病院に駆け付けると姉の姿は無く、遺族二人が廊下で待っていた。

「今、献眼している」

と甥。

「決心してくれてありがとう」

甥の手を握り礼を言った。

「以前から登録していたからね……」

静かに答えてくれた。

待つこと10分。諸先生方と、しまねまごころバンクの方が、バッグを手に病室から出て来られた。

「お役に立ちますか?」

と問うと、

「大丈夫です。頂きます」

と深々と頭を下げて立ち去られた。

病室に入ると、ベッドの上で安堵したように眠る姉の姿。姉はまだ温かかった。

「ありがとう。楽になったね。眼もありがとう」

答えぬ穏やかな死に顔に、初めて涙がこみ上げた。

バッグから化粧品を取り出し、最後の化粧をしてあげた。紅を差すと死に顔が神々しく思えた。生前から人の世話をするのが好きだった姉のこと。どこかでまた自分の角膜が役立つとは、死してなお満足。そう言っているような奇麗な顔であった。

死去から2時間、霊柩車の人となり、家族の元に無言の帰宅をした。

「誰かの役に立てる……」。家族の理解に感謝と尊敬を感じると共に、姉にも改めて感謝した。

ライオンズに入会して20年。献眼登録をお願いし続けた私でさえ、一昨年主人を難病で亡くした際、献眼出来なかった。

家族を亡くした混乱の中、親族の理解を得て、その場で献眼に至ることは本当に難しい。

「尊い角膜が誰かの役に立てる。光となる」という臨終の場での家族の決意

が非常に重要となる。ライオンズ・メンバーでも難しい中、一般の方からの献眼の申し出、手続きを進めるのは更に困難だ。

しかし今回、姉の献眼でまごころバンクのシステムの早さを実感することが出来た。連絡から1時間（角膜摘出は30分程）で全てが終わった。その死に顔には何も違和感は無かった。

「難病で苦しんだ上、まだ体に傷をつけるのか……」という懸念も消え、「角膜が誰かの光となる」という穏やかな気持ちが、故人、家族への感謝となった。

平田ライオンズクラブでは毎年、地元の平田地区福祉フェスティバルで献眼登録を呼び掛けている。

2年前、献眼までのシステムなどを分かりやすく説明した「献眼登録の手引き」を発行した。

例会のゲストとして、しまねまごころバンクから講師をお招きしてからは、例会誌にも、まごころバンクの24時間対応の電話番号を記載している。

肉親の献眼体験によって、改めて献眼推進活動が尊いものだと実感し、この献眼の経緯を皆様に報告することで、姉やその家族の思いを感じて頂けたらと思う。これからも姉に感謝し、冥福を祈りながら、一人でも多くの方に光を与えられるよう、献眼事業を推進していこうと思っている。

応援歌
『心ひとつに（イレブンゾーンのテーマ）』

大久保 征男（鹿児島県・名瀬）

ここ鹿児島県奄美群島は１９４６年2月2日、いわゆる「2・2宣言」により、沖縄諸島、トカラ列島と共に日本から分離されて、アメリカ軍統治下に置かれました。後の51年、奄美大島日本復帰協議会が発足し、同胞40万人が一体となった断食、無血、非暴力による平和主義的本土復帰運動が展開されました。その結果、53年12月25日、8年間のアメリカ軍政下を経て、ついに群島民悲願の日本復帰を勝ち取った歴史があります。

昨年（13年）はその日本復帰から60周年という節目の年に当たることから、群島各地で大小さまざまなイベントや式典、催事等が行われました。復帰運動の意味や、歴史的背景、更にはこれからの奄美のあるべき姿、取り組みといったことが、各界各層の人々によって検証・提言された1年でありました。

この記念すべき節目の年に、私は期せずして337・D地区（鹿児島県・沖縄県）において奄美群島全域を管轄する第11ゾーンのゾーン・チェアパーソンとしての任務を、肥後光春地区ガバナーから拝命致しました。1年間の活動計画を立てるに当たり、復帰イベント等への協力は不可欠と認識しておりました。当時の暗く苦しい時代から脱却して復帰を成し遂げた先人たちの知恵と勇気

獅子吼

に敬意を表すると共に、併せて、一致団結して目標を達成するライオンたちの「ウィ・サーブ」の精神にも通じるこれらの圧倒的な利他の精神を尊びたいと考えました。とりわけ、ここ鹿児島リジョン第11ゾーン（瀬戸内、徳之島、名瀬、沖永良部、与論、喜界、笠利）、すなわち奄美群島全域のライオンズクラブをこそ、復帰当時の熱気を標榜し鼓舞するために、応援歌を制作することを思い立ったのです。

本歌は、奄美大島出身のシンガーソングライターである平田輝氏に依頼して制作して頂きました。完成後の13年8月24日、ガバナー諮問委員会において皆様からゴーサインを頂き、続くガバナー公式訪問合同例会において、ご来賓、地区役員、ゾーン内全ブラザークラブのメンバーご列席の下、発表致しました。

ここでお聞き頂いた方々からアンケートを取ったところ、「大変良かった」と「良かった」を合計すると、実に95％を占める好意的なご意見を頂くことが出来ました。曲の取り扱いについては当クラブに一任するというご承諾をゾーン内各クラブ会長から頂き、検討の結果、本曲を第11ゾーン応援歌として採用することを決定したものです。

本曲の活用例としては、周年式典などの来賓入場の際にＢＧＭとして（本命）。また周年祝賀会や例会での食事時間、クリスマスなどの特別例会、クラブの記念イベントやアクティビティ実施の際のＢＧＭとして。その他、対外的にライオンズクラブのＰＲや報告、発表などを行う際にもご利用頂けると思います。出来る限り本曲を持参してＰＲに努め、ライオンズクラブを地域住民他に広く知って頂くことを目的としています。

現在、この応援歌は、名瀬ライオンズクラブのホームページ（nazelionsclub.amami.jp）において公開中です。更に、YouTubeにも動画と共にアップ致しました。願わくば多くの皆様方にお聞き頂き、奄美群島のみならず、日本全国の「ライオンたちへの応援歌」としてご愛唱頂けましたら誠に幸甚の至りと申せましょう。ぜひ一度ご試聴ください。

ライオンズクラブとアイバンク協会の絆

髙橋　淳宏（大分県・鶴崎臨海）

近年、ライオンズは過渡期を迎え、ライオンズクラブとアイバンク協会の関係を熟知されていない方が増えているように感じられます。両者が育んできた関係を再認識し、今後、そのつながりをより一層密にしていければと切望致します。

ライオンズにとっての視力保護運動を考える時、世界の人々から「光の天使」と慕われたヘレン・ケラー女史を忘れることは出来ません。１９２５年、アメリカ・オハイオ州で開かれたライオンズクラブ国際大会で、「ライオンズよ、盲人のための騎士として、闇を切り開く行軍の先頭に立って頂きたい」と訴えました。三重苦を背負いながらの彼女の講演は、多くのライオンたちに関心と感動を与えました。以来、視覚障害者への支援は世界のライオンズの主要奉仕活動となりました。

１９３０年、世界で最初のアイバンクがアメリカに創設されます。日本では58年に角膜移植法が成立公布され、63年、慶応大学と順天堂大学に日本で

初めてのアイバンクが発足することになりました。65年4月には㈶日本眼球銀行協会が組織され、その後、各県にアイバンク協会が設立されていきます。

大分県アイバンク協会は、78年度の小坂哲也337・B地区ガバナーから翌年度の佐竹季治地区ガバナー、そして児玉嘉生地区ガバナーへと設立のための準備作業が受け継がれましたが、未知の分野とあって難航していました。そうした中、故中塚正行大分医科大学学長の力強いご指導ご後援を得、更に医大眼科教室に拠点を置くこともご了解頂いて、ついに81年8月、工藤早苗地区ガバナーの年度に、大分県知事の許可が下りて㈶大分県アイバンク協会が設立されました。県内市町村自治体からの出資金の援助も実現し、ライオンズクラブの拠出金と合わせて基金とし、運用益による運営を開始しました。

また、推進母体であるライオンズは㈶大分県アイバンク協会の運営のためには全面的援助が必要不可欠と考え、81年、「ライオンズ大分県アイバンク協力会」を結成。基金の確保及び、迅速かつ円滑に角膜移植が完遂出来るよう助力して参りました。

こうして当初は基金の運用益で経費が賄えていましたが、低金利時代に突入すると台所事情は一変、厳しい状況になりました。加えてライオンズの会員減少に伴い会費拠出金も減少。運営難が続いています。

収入源の安定化を計るために、私は次の対策を考案・実施しました。

1. コカ・コーラボトリングと協力会とが契約して県内の総合病院に自動販売機を設置。売上金の一部を寄付して頂く
2. 病院、医院の会計窓口30カ所に募金箱を設置する
3. 未使用ハガキ・書き損じハガキの収集
4. ライオンズにチャリティー・イベントの開催と収益金の一部寄付をお願いする
5. ライオンズ賛助会員増強として県内一般企業や団体に入会のお願い

移植医療普及のためには次の活動をしております。

1. 献眼普及啓発に3種類の「のぼり」を作成。県内全クラブに配布し、地域のイベントなどで活用してもらうPR作戦
2. 日本赤十字社血液センターと協調し、献血時に同じコーナーで献眼・献腎登録を実施
3. 健康保険証、運転免許証の裏面に献眼の意思を記入してくれるようPR
4. 移植医療普及のシンボルであるグリーンリボンのステッカーを、大分県バス協会及びタクシー協会に配布し、バス、タクシーに動く広告塔となってもらう

世界各地で多発している自然災害には多くの日本人ボランティアが駆け付け、昼夜の別なく支援に当たっています。「他者を助けたい」という心を、日本人はDNAの中に持っているのだと思います。献眼に対する眠れるDNAを呼び起こし、視力保護活動における先人たちの努力をつなげていきたいと思います。

奉仕は「させられる」ものではなく自発的に「奉仕する」でなければなりません。根気よく心の扉を開き、一人でも多くの方々に「愛の光」を届けたいと念じています。

（ライオンズ大分県アイ・腎バンク協力会会長）

Close up

手づくり甲冑で地域の祭りを盛り上げる

■八木市次

やぎ・いちじ　1939年京都府亀岡市生まれ。八木呉服店店主。2008年に亀岡手づくり甲冑の会を立ち上げて、代表を務める。親子で学べる子ども手づくり甲冑講座も開催。70年亀岡ライオンズクラブ入会、92年度クラブ会長。

亀岡は明智光秀が丹波攻略の拠点として築いた亀山城の城下町です。毎年ゴールデンウィーク期間中の5月3日に開かれる亀岡光秀まつりでは、光秀をしのんで武者行列が行われます。秋には山鉾が巡行する伝統の亀岡祭がありますが、春の祭りとして観光協会が中心となり始めたのが光秀まつりで、今年で42回目になります。

光秀と言えば天下の逆賊ですから、イメージが良くないということで、ただ春まつりという名前にしていた時期もありました。しかし近年になって光秀の評価は見直されています。教養人だったことはよく知られていますし、丹波では善政を敷いて領民に慕われたようです。本能寺の変を起こした理由にもさまざまな説がありますからね。今、亀岡では明智光秀をNHK大河ドラマの主人公に取り上げてもらおうという運動が盛り上がっていて、ライオンズクラブも協力しています。

以前の光秀まつりはただ武者行列を見物するだけでしたが、築城400年を機に市民参加型にしようということになり、それなら自作の甲冑で参加したいと立ち上げたのが、亀岡手づくり甲冑の会です。6年前に30人ぐらいで始まって、今では150人ほどの会員がいます。

最初に滋賀県から指導者を招いて習い、今は年に何回か講習会を開いて作り方を教えています。甲冑には細かいパーツが多いので、とにかく手間が掛かります。甲冑1領に糸を通す穴が2千もあって、穴空けだけで嫌になることもあるぐらいです。毎日根を詰めて出来るわけでもないし、接着して乾かす時間も要りますから、一つ完成するまで4カ月ぐらい掛かります。自己満足かもしれませんが、紙で出来ているようにはまず見えませんよね。

会のみんなで作るのは標準的な甲冑ですが、今日着けたのは鉄砲に対応したものです。光秀が活躍した戦国時代は鉄砲の時代ですから、鉄砲隊の甲冑をまねて作ってみました。材料はアルミなので、歩くと本物のようにカチカチ音が鳴るんですよ。これまでに7領ほど作りました。鎧の下に着る直垂は知り合いの金襴屋から生地を取り寄せて、甲冑の会の女性に仕立ててもらっています。

だんだんとのめりこんで、今は甲冑の会メンバーでもあるライオンズの仲間と一緒に、島根県の松江まで火縄銃を習いに通っています。今年は出発式で火縄銃を披露して、祭りを盛り上げますよ。

写真・構成／河村智子

ライオン八木（前列右）と、亀岡手づくり甲冑の会で共に活動するライオンたち。（後列左から）ライオン光嶋裕、ライオン矢田勲、ライオン井尻正義、（前列左から）ライオン奥村邦夫、ライオン荒木昌幸

おすすめの ippin

高知県大月町

ひがしやま

漢字で書くと「干菓子山」。高知では誰もが知っている干し芋で、中でも大月町竜ケ迫(たつがさこ)産は絶品と評判だ。

ひがしやまには通称ニンジンイモと呼ばれる「紅ハヤト」という品種が使われる。焼き芋にするとベチャベチャでおいしくないが、干し芋には最適。竜ケ迫では海岸沿いの段々畑でこの芋を作っている。冬場、収穫した芋を丁寧に水洗いした後、皮をむいて、大鍋で4、5時間炊き上げる。添加物は一切無し。ゆで上がった芋は一つひとつ形を整えてから、2~3週間かけてじっくりと天日で干す。その間、冷たい潮風が吹き付け、芋は徐々に甘みを増していく。

こうして手間暇掛けて作られたひがしやまは、つやつやと光沢のある飴色をしている。更に一口食べて驚くのが、その甘さと軟らかさ。まるでキャラメルを食べているようだ。また、少し火であぶった熱々のひがしやまも捨てがたい。一度は食べてみたい伝統的和風スイーツである。

●「道の駅 ふれあいパーク・大月」
高知県幡多郡大月町弘見2610

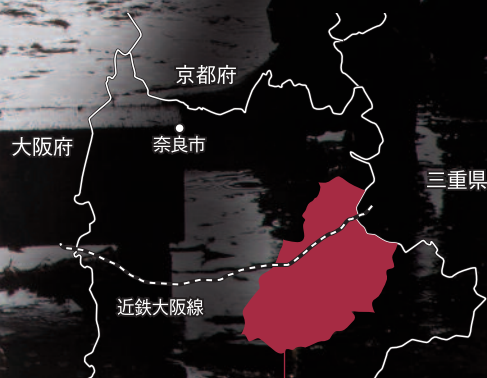
国宝の室生寺五重塔

ふるさと探訪

奈良県 宇陀市

磨き丸太と本葛の故郷は、古代日本史の表舞台

文／砂山幹博　写真／田中勝明

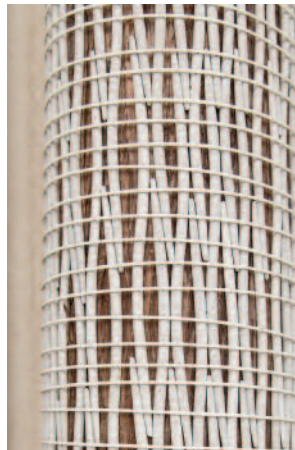
宇陀
UDA

奈良県 宇陀市（うだ）

奈良県北東部、北は奈良市、山添村、西は桜井市、南は吉野町、東吉野村、東は曽爾村、三重県名張市に接する。『古事記』や『日本書紀』に「宇陀」の記載が見られ、神武伝承の舞台としても知られる。大和と伊賀・伊勢を結ぶ東西の交通の要衝で、室町時代に始まり江戸時代に盛んになった庶民のお伊勢参りの宿場町として繁栄した。内陸性気候で、冬は季節風の影響を強く受け寒さが厳しい一方、夏は冷涼で過ごしやすい。
総面積／247.6平方*ロ
総人口／33,647人（平成25年12月現在）

伝統産業、磨き丸太

宇陀市を含む吉野地方は、山林が大半を占め、古くから林業が盛ん。年間平均気温は14度、降水量は日本の年平均の1・3倍あり、保水性に優れた土壌のため、杉が育つのに最適な気候風土となっている。いわゆる吉野杉の産地で、中でも床柱など、装飾に用いる磨き丸太の加工が盛んだ。ちょうど製造の真最中というので現場を訪ねてきた。

磨き丸太は樹皮を剥がした丸太の表面を、滑らかになるまで小砂利や棕櫚（しゅろ）の毛などで磨いたもの。山で伐り出された原木の皮むき作業が行わ

→木肌を傷つけないよう、水圧で木の皮を剥く
←天日干しした後、屋内で更に60日間じっくりと乾燥する
↓木肌の表面にシワのある天然絞り丸太を模した人造絞り丸太。立ち木にプラスチック製の当て木を針金で巻きつけ人工的に凹凸模様を作る
（撮影協力：森庄銘木産業）

れるのは、12月から3月の寒い時期。この時期の木は、年輪でいう色の濃い冬目の部分が木肌となる。硬く締まり、磨くと表面に光沢が浮かび上がる。反対に木肌の白い夏目の頃は、木が柔らかく簡単に傷が入ってしまい、良い磨き丸太は出来ない。木をすっかり乾燥させるために寒風に当てる他、皮をむくために大量の水を使うなど、冬場にはきつい作業だが、寒さは絶対に欠かすことが出来ない条件だ。

磨き丸太の中にはごくまれに、木の表面に絞り模様や凹凸模様が自然に現れるものがある。これらは天然絞り丸太と呼ばれ、大変珍重されてきた。ところが、後にこれを模した人造の絞り丸太の製造法が考案され、現在その多くが宇陀で造られている。

磨き丸太、絞り丸太の製造は植林から伐採、加工まで長い年月と多くの手間が掛かる。山地に密植された杉やヒノキは丁寧に枝打ち・間伐され、製品に適したものが選別される。吉野杉の場合、1本1本見極められ、製品となるのはおよそ5本に1本。樹齢50年未満のものが丸太として使用される。これ以上では床柱には太すぎるためだ。

絞り丸太にする木はあらかじめ決められており、立ち木の状態で加工される。箸のような形をしたプラスチック製の型を木肌に数多く押し当て、針金できつく巻き付けるのが加工のやり方だ。1～2年、この状態を保った後、針金を外すと、無数の型の跡が絞り模様になって現れる。立木のまましばらく置いて、型の跡が緩んだ後に伐採、皮をむき、磨けば人造絞り丸太の完成となる。

最近は床柱のある家が少なくなり、以前ほどの生産量はないが、用途は広がっている。洋室に使われるようになった他、屋外での使用も増えている。また幼稚園やレストラン、温泉施設の建材として採用されるなど、新たな可能性も見いだされている。

白さ際立つ吉野本葛

磨き丸太と同様、宇陀で冬に最盛期を迎えるのが本葛作り。

葛はマメ科の多年生植物で、その根から得られる澱粉を精製したものが葛粉。混じり気のない葛粉100%のものを本葛と言う。葛粉の中でも最高品質とされ、特に宇陀周辺で製造されるものは吉野本葛として地域ブランド（地域団体商標）登録されている。

本葛と言えば高級食材の一つだが、葛そのものは『万葉集』や『枕草子』にも登場して、秋の七草の一つにも数えられる身近な植物だ。全国どこにでも見られ、砂漠の緑化に利用されるほどの生命力を持ち合わせている。

そのため江戸時代には各家庭で植え、葛粉を採取して食用とすることが奨励された。何年も保存が利く葛粉は、飢饉で米などの作物が取れない時の備えとして重宝された。ただし、葛粉を作るのには相当な手間と労力を要する。

葛の採取は、葉を落とし根にたっぷりと栄養をため込んだ冬の間に行われる。採取した根を破砕して絞ると、澱粉質が沈殿する。この澱粉には不純物が多く含まれるため、奇麗な水を何度も入れ替えて汚れが浮いた上澄みを取り除く。今でこそ機械で行う作業だが、かつては手で冷たい水を入れ替えていた。

「何もこんな寒い時にやらなくても」という考えが頭をよぎるが、気温が上がると溜めた水にバクテリアが繁殖するため、どうしても寒い冬の間の作業となる。不純物が取り除かれた澱粉を冷たい空気にさらして乾燥させると、白さが際立つ吉野本葛が完成する。葛粉の製造に欠かせない「大量の奇麗で冷たい水」と「乾燥に適した寒い気候」が、宇陀にはそろっている。

体を温め血行を良くすることから、葛粉は風邪のひき始めなどに効能のある生薬、葛根湯として利用されてきた。冷めにくい性質から冬にはとろみのある葛湯に、冷めると固まる性質から夏には涼やかな葛餅に。お菓子の他にも、和食のあんなど食材にとろみを付け、味を引き立たせる役割で使用されている。

（上）冷風で十分に乾燥させた吉野本葛。その希少性から「白いダイヤモンド」とも呼ばれる／（下）吉野本葛と水だけで炊きこまれた葛餅。時間が経つほど白くなっていくので、透明なうちにモチモチの食感と得も言われぬのどごしを楽しむのが良い（撮影協力：森野吉野葛本舗）

大和朝廷起源の地

『古事記』『日本書紀』にもその名が見られるなど、宇陀の歴史を振り返ると話は古代に及ぶ。古代日本の中央集権国家である大和朝廷が、この宇陀から起こったという興味深い話があるのでご紹介したい。

古代の宇陀一帯では、水銀の原料である朱砂・丹砂（朱色の硫化水銀）が無尽蔵に取れた。水銀は当時、最も価値の高いものの一つで、秦（中国）の始皇帝が不老長寿の薬として水銀を求めた話は有名だ。ところが当時の日本ではあまり価値があるものだと思われていなかった。

大和朝廷がまだ存在していない239年に、邪馬台国が魏国へ遣いを送った。この時献上した品に対する魏からの下賜品の中に、それほど珍しくない鉛丹（水銀）が含まれていた。これによって初めてその価値を知った（であろう）邪馬台国は、4年後の朝貢の際には魏への献上品として水銀をリストアップしている。

中国では皇族や貴族が薬として飲んでいた以外に、防腐剤や鮮やかな朱色の顔料として使用した。また、もう少し後になってからは仏像に塗る金メッキに不可欠な素材として水銀は重用された。奈良の大仏に水銀が金メッキとして大量に使われているのは有名な話である。

大和朝廷の出現前、大きな力を持っていたのは、中国山地の日本海側（出雲）の勢力だ。その背景にあったものは鉄。砂鉄の産地であったことから、鉄を交易品として国を豊かにした。ところが、鉄よりも価値が高いという水銀が大和地方にあると分かってからは、権力者らは大和を手中に収めようとする。

だから日向（宮崎）を発った後、大和を目指した神武天皇の東征も、その目的は宇陀の水銀を支配するためだったのかもしれない。資料も何もない時代の話なので想像の域を出ないが、古代史の表舞台となった地で歴史に思いを馳せてみるのも悪くない。

宇陀には女人高野として有名な室生寺や又兵衛桜、歌聖柿本人麻呂が魅了されたかぎろひの丘、水の分配を司る水分神社など、歴史資産や自然も豊富。ぜひ訪れてその目で確かめてみてはどうだろう。

2006年に重要伝統的建築物群保存地区に選定された宇陀市松山の町並み

▼取材協力クラブ

宇陀ライオンズクラブ（松尾文隆会長／22人）＝1964年6月23日結成／スポンサー：吉野ライオンズクラブ／

宇陀市内の小学生を対象にした宇陀ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会の開催は、これまで27回を数える。また、宇陀シティマラソンに特別協賛及び労力奉仕を実践するなど、次代を担う青少年の「健善（健全）」育成に特化した活動を展開している。

取材をコーディネートしてくれた宇陀ライオンズクラブの松尾会長（中）と正田道義幹事（右）。宇陀・松山で昔ながらの酒造りを続ける久保本家酒造の代表、久保順平さんと共に

読者から―3月号

■災害時のライオンズの在り方

昨年の地区年次大会で、L八幡幸子（岩手県・大槌ライオンズクラブ）の講演を聞きました。その時、被災地ではどれだけ大変だったかが、記憶に残っております。今回ライオン誌に取り上げて頂いたことで、再認識することが出来ました。2014年アラート・フォーラムin神戸でもそうですが、震災時におけるライオンズの在り方が重要だと感じました。炊き出しグランプリはフェイスブックと連動していて、面白い試みだと思います。メンバー参加型で、今後も続けてほしい企画だと思いました。

兵庫県・洲本ライオンズクラブ●神田智康

■あの日を忘れない

東北で被害が少なかったのは山形県と秋田県である。厳密に言えば両県でもある程度の被害は出ていた。だが、あまりにも太平洋側の被害が甚大であったからニュースにならなかったのだ。秋田県に住まいがある私は、3・11を生涯忘れまいと思っている。気仙沼での炊き出しでは、あの惨状を目の前にして涙があふれてきたのを今でも思い出す。しかし、被災された方々は、前向きに生きようとしていた。そのお手伝いをするのが、被災から免れた私たちの使命だと思う。

秋田県・大曲ライオンズクラブ●池田光英

■行政の出来ない部分をカバー

「避難所に居る被災者」ではなく、「在宅被災者」への支援に関する部分が印象に残りました。行政が支援出来ない所をカバーする。まさにライオンズのアクティビティそのものだと思います。それから、「被災クラブ追跡取材」は今後も続けてほしいです。「みなさんの支援のおかげで元気にがんばってます」というメッセージを発信することが、他地区のライオンの刺激にもなると思います。

宮城県・大和エコーライオンズクラブ●笠原公平

■被災者の笑顔が見たい

東日本大震災から3年、被災地の復興は見通しが立っていません。被災者の苦悩は3年も続いているのです。奉仕の力は、政治を動かせないのでしょうか。もっともっと積極的な支援が望まれます。当地区ではガバナーが重点施策として「被災地支援」を呼び掛け、年次大会記念事業も被災地支援につなげたいと準備しています。

「ふるさと探訪」は、その土地の風土が伝わり、ほほ笑ましく拝見しています。内容の濃さに感心し、行ってみたいと心が弾みます。山陽の魅力を感じました。このコーナーに、被災地の笑顔が並ぶことを楽しみにしています。

山形県・酒田ライオンズクラブ●山口龍二

●ライオン誌事務所来訪者芳名録

3・7 徳島眉山 金谷 光夫

3・14 東京 池崎 道男

読者プレゼント

■被災地・相馬のだし醤油を読者10人に

東日本大震災で店舗、蔵、自宅の全てを失った福島県相馬市の立谷味噌醤油店（L立谷健二／「被災地のライオンズは今」）は高台に移転して醤油作りを再開。薬剤師の資格を持つ先代社長が、素材と味にこだわり、青森県産の柔らかい大豆と高知のかつお節で作った、同店の特製だし醤油を10人の読者にプレゼントします。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「だし醤油」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は5月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌事務所

＊オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉第1問=b.／第2問=c.／第3問=b.／第4問=a.／第5問=c.

もう一度読みたい「あの記事」

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

●1990年11月号　獅子吼

「ウィ・サーブは無我の心で」

桜井督三（東京南多摩ライオンズクラブ）

ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）はライオンズクラブのモットー。モットーとは座右の銘、標語であります。しかし、ライオンズの誓いに、社会奉仕に精進するとあるため「奉仕する」のは自明の理です。それを

モットーとして心掛けようというのは、「ウィ（われわれ、一緒に）」というところに重点があるのではないでしょうか。「アイ・サーブ」ではなく「ウィ・サーブ」を心掛けるというのは「無我」がキーワードと思われます。「ウィ」というところで社会性を持たせて、自我の心を平らかにしようというコンセプトでしょうか。自分を立てると闘争心の元になります。自我と知識から出てくるのは不平不満で、クラブ・ライフを暗くします。

「無我」は相手を立てるということで、豊かな心を目覚めさせます。無我と知恵から生まれてくるのが、喜びと感謝の気持ちです。無我は物心一如の世界。心を大切にする人はやはり、ありがたい、おかげさまで、と物を大切にする人。物を大切にする人は、心を大切にする人です。

私は才能のある優れた人も立派だと思うけれど、このようなおおらかな人柄に出会うと、うらやましい気持ちを持ちます。そして自分は心が狭いからであろう、人を批判する心は激しいのに、自らを批判する心を持ち合わせない、好きな人、嫌いな人の区別が激しくて、広く愛する心を持たない、一言で言えば冷たい人間であると恥ずかしく思います。自我の心が強いからですが、かと言って独りぼっちでもいられないのです。心が弱いからでしょう。

クラブで、ある身体障害者の団体の記念式典に金品贈呈のため参加した折、その代表は「ありがたいことですが、もっとしてほしいことがあります」と言われました。要約すると次の通りです。

・私たちに関心を寄せてほしい
・私たちのレベルに降りてほしい
・私たちの歩幅で一緒に歩いてほしい
・心を開いてほしい

私は、相手の望むことを考えないで、自我を満足させることに気を取られており、自分の力で優しく出来るという思いを打ち砕かれました。愚かしいことです。我々は自分の力のみで生きているのではありません。天地、自然から恵みを頂き、あらゆる人々からのおかげを頂いている、と先覚から教えられてきましたのに。

自我にとらわれていたことに深く気付かされることがなくては、本当の自由な世界は開かれないのに、不安と優越感、劣等感に揺れ動き、肩書き、名刺、善行と、外に求めて安心しようとしてきました。我執に深く気付かされなければ、共感出来ることはないし、共感がなければ、奉仕は自己満足に終わるでしょう。自分が一番可愛い、自分が正しい、このような自愛の妄想から、賢者の、善人の立場に立って善し悪しを言い、人を裁いてきた。そういう愚かしさを自覚したものが共感出来るのでしょう。共感から優しさが生まれ、そして心を通い合わせ、心に一隅に、灯がともせるのでしょう。喜びと感謝の気持ちで、ウィ・サーブが生活となり、自然体となるような自覚の道を歩み始めたいと願っています。

ライオン誌例会のススメ
―次の例会ですぐ使える情報

何でも日本一

■東西南北、多いのはどれ？

前号のこの欄で、クラブ名には地名に東西南北を付けた名称が多い、ということを書いたが、実際に数えたことはなかった。それぞれ何クラブあって、四つのうちどれが一番多いのか？全国のクラブで、地名の後に東・西・南・北が付くクラブを数えてみた。まずは東から。東は68クラブでイースト13クラブと合わせて81。西は49クラブ、ウエスト12クラブで計61。南は56クラブ、サウス8クラブで計64。北は36クラブ、ノース6クラブで計42。という結果で、最も多いのは東だった。東西南北の一番上にあるためだろうか？

この日・この月

5月15日は国連が定める「**国際家族デー**」。社会の基本単位である家族に関わる問題、例えば家族構造の変化や高齢化などについての認識を高め、各国が適切な対応を取るよう唱えている。

国際協会では、家族が共に活動することで世代を超えてライオンズの奉仕の精神を受け継いでいこうと、07年から家族会員の制度を設けている。本誌13年12月号THEMEで紹介したライオン横田麻衣は、22歳の大学生。祖母が所属する兵庫県・芦屋ハーモニーライオンズクラブでチャリティー・バザーなどのアクティビティを手伝っていたことから、昨年4月に家族会員としてクラブの一員になった。その後、祖母は亡くなられたが、代わって母が入会し、親子で奉仕活動に励んでいる。

今月号の記事から

今月号THEME（5～19ページ）では国内外の資金獲得事業を紹介しました。欧米の事業例には、日本のクラブが参加費無料で行うような市民向けイベントで少額の入場料や参加費を徴収し、収益を上げるものもあります。市民に楽しみを提供しながら、事業費を獲得するにはどんな方法があるか、試しに知恵を出し合ってみてはどうでしょう。

★本号とバックナンバーをライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）でEブック形式で公開しています。例会で本誌の記事を話題にする際に誌面をスクリーンに表示するなどして、ご活用ください。

クイズ de 例会

〈第1問〉「資金獲得事業」を英語で何と言う？
- a. Financial activity
- b. Fund raising activity
- c. Trading activity

〈第2問〉アクティビティ予算の準備を担当するのは？
- a. 会計　b. 理事会
- c. 財務委員会

〈第3問〉会員のドネーションは原則としてどの資金に組み入れる？
- a. 運営資金　b. 事業資金
- c. どちらでもよい

〈第4問〉会員のファインは原則としてどの資金に組み入れる？
- a. 運営資金　b. 事業資金
- c. どちらでもよい

〈第5問〉資金調達活動で集めた公共資金から支出出来るのは？
- a. 火事で家を失った会員の支援
- b. クラブが法人組織を立ち上げる際の初期経費
- c. クラブが管理する公園の管理費

★回答は54ページ下

次号予告

LION

THEME **世界遺産・富士山**

日本を代表する山、富士山が世界文化遺産に登録されてから1年が経った。富士山の豊富な湧水と、その恵みを生かした人々の暮らしぶりを見に、富士山麓を訪ねる。また、富士山の環境を守るために、清掃や植林などの活動に取り組む人たちやライオンズの活動も紹介する。

編集室

ライオンとしての自覚

ライオン誌
日本語版委員
◉
大村行範
(静岡県・富士タカオカ)

昨年7月からライオン誌日本語版委員となりました。月1回の委員会は武久一郎国際理事、清水英徳国際理事、また各複合地区の委員の皆さんとさまざまな情報交換が出来る機会でもあり、大変勉強になっています。

ライオンズクラブの現在を直視すると、クラブ運営にしても、事業にしてもマンネリ化が起き、クラブの活力が失われつつあると感じます。例会や、クラブが実施するアクティビティの出席に際して、一番大切なのはやはりライオンとしての自覚です。その自覚が失われつつあるように感じるのです。近年は会員の多様化が進み、クラブ内で同一歩調を取るのが難しいと感じる場面が増えてきました。それでもライオンとしての自覚さえあれば、クラブのために自分の仕事や時間を調整して進んで協力してくれるはずです。また会員としての自覚が生まれれば、長くクラブに定着してくれると思います。

新会員に短兵急な教育をしたり、また民主的に決めたルールだからと言って頭から押し付けようとするのは間違いです。大切なのは、「教えてやる＝教育」ではなく、「共に学ぶ＝共育」ではないでしょうか。

会員としての自覚は、クラブへの共鳴と感動の中に生まれ、やがては誇りへと育っていきます。私見ですが、社会奉仕というライオンズクラブの目的そのもの以上に、会員同士の出会いによって自分自身に新しい位置づけを見つけることで、より大きな感動や共感が得られると思います。それが自覚と誇りを高め、社会奉仕活動の充実、クラブへの定着、出席率の向上につながっていくのだと思います。

実際、謙虚に自分をわきまえた会員が大勢いるクラブほど多くの感動や共感が生まれ、充実したクラブ・ライフを享受しています。

ライオンズクラブは楽しくなければならない、楽しいからこそ、会員維持や、会員増強が可能になると感じます。ライオンとしての自覚を持てる会員を育てましょう。

Official publication of Lions Clubs International

EXECUTIVE OFFICERS
President Barry J. Palmer, PO Box 200, Berowra, NSW 2081, Australia; Immediate Past President Wayne A. Madden, PO Box 208, Auburn, Indiana 46706, USA; First Vice President Joseph Preston, Dewey, Arizona, USA; Second Vice President Jitsuhiro Yamada, Gifu, Japan.

DIRECTORS
Second year directors
Benedict Ancar, Bucharest, Romania; Jaime Garcia Cepeda, Bogotá, Colombia; Jui-Tai Chang, Multiple District 300 Taiwan; Kalle Elster, Tallinn, Estonia; Stephen Michael Glass, Bridgeport, West Virginia, USA; Judith Hankom, Hampton, Iowa, USA; John A. Harper, Cheyenne, Wyoming, USA; Sangeeta Jatia, Kolkata, West Bengal, India; Sheryl May Jensen, Rotorua, New Zealand; Stacey W. Jones, Miami Gardens, Florida, USA; Dr. Tae-Young Kim, Incheon, Korea; Donal W. Knipp, Auxvasse, Missouri, USA; Sunil Kumar R., Secunderabad, India; Kenneth Persson, Vellinge, Sweden; Dr. Ichiro Takehisa, Tokushima, Japan; Dr. H. Hauser Weiler, Kilmarnock, Virginia, USA; Harvey F. Whitley, Monroe, North Carolina, USA.

First year directors
Fabio de Almeida, Guarulhos SP, Brazil; Lawrence A. "Larry" Dicus, Whittier, California USA; Roberto Fresia, ; Alexis Vincent Gomes, Pointe-Noire, Republic of Congo; Cynthia B. Gregg, Belle Vernon, Pennsylvania, USA;Byung-Gi Kim, Korea; Esther LaMothe, Jackson, Michigan, USA; Yves Léveillé, Howick, Quebec, Canada; Teresa Mann, Hong Kong, China; Raju V. Manwani, Mumbai, India; William A. McKinney, Highland, Illinois, USA; Michael Edward Molenda, Hastings, Minnesota, USA; John Pettis, Jr., Merrimac, Massachusetts, USA; Carl Robert Rettby, Neuchatel, Switzerland; Emine Oya Sebük, Istanbul, Turkey; Hidenori Shimizu, Gunma, Japan; Dr. Steven Tremaroli, Huntington, New York, USA.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される－英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

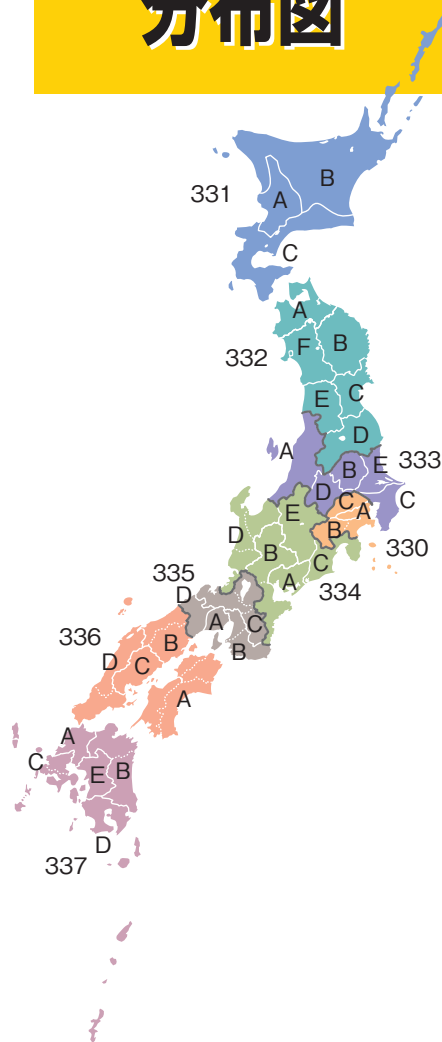
ライオン誌日本語版委員会
国際理事　武久一郎
国際理事　清水英徳
委員長　茂尾　実（331複合地区）
編集長　団　英男（335複合地区）
委　員　大熊泰雄（330複合地区）
委　員　佐藤義則（332複合地区）
委　員　小西宗仁（333複合地区）
委　員　大村行範（334複合地区）
委　員　組嶽晶一（336複合地区）
委　員　田崎登保（337複合地区）

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

日本のライオンズ

2014.3.31　eMMR ServannA報告による

地区	都道府県	クラブ数	会員数	男性会員	女性会員	女性の割合%	期首からの増減
330-A	東京	202	5,530	4,384	1,146	20.7	726
330-B	神奈川·山梨·東京	167	4,828	4,104	724	15.0	198
330-C	埼玉	93	2,324	1,987	337	14.5	119
330	計	462	12,682	10,475	2,207	17.4	1,043
331-A	北海道(道央)	73	2,594	2,270	324	12.5	235
331-B	北海道(道北·道東)	88	2,465	2,285	180	7.3	71
331-C	北海道(道南)	52	1,805	1,590	215	11.9	47
331	計	213	6,864	6,145	719	10.5	353
332-A	青森	66	1,981	1,639	342	17.3	131
332-B	岩手	53	2,276	1,592	684	30.1	122
332-C	宮城	75	1,610	1,284	326	20.2	63
332-D	福島	73	2,224	1,848	376	16.9	286
332-E	山形	56	1,844	1,607	237	12.9	72
332-F	秋田	47	1,351	1,046	305	22.6	23
332	計	370	11,286	9,016	2,270	20.1	697
333-A	新潟	76	3,203	2,584	619	19.3	426
333-B	栃木	53	1,677	1,127	550	32.8	308
333-C	千葉·東京	141	3,808	3,007	801	21.0	318
333-D	群馬	53	2,316	1,720	596	25.7	325
333-E	茨城	80	3,528	2,746	782	22.2	699
333	計	403	14,532	11,184	3,348	23.0	2,076
334-A	愛知	120	5,891	4,649	1,242	21.1	901
334-B	岐阜·三重	82	5,297	3,592	1,705	32.2	1,054
334-C	静岡	82	3,614	3,022	592	16.4	554
334-D	富山·石川·福井	99	5,154	3,866	1,288	25.0	1,337
334-E	長野	52	2,341	1,859	482	20.6	410
334	計	435	22,297	16,988	5,309	23.8	4,256
335-A	兵庫(東)	90	2,211	1,860	351	15.9	63
335-B	大阪·和歌山	178	6,136	4,945	1,191	19.4	756
335-C	滋賀·京都·奈良	119	3,900	3,544	356	9.1	68
335-D	兵庫(西)	65	2,009	1,701	308	15.3	144
335	計	452	14,256	12,050	2,206	15.5	1,031
336-A	徳島·高知·香川·愛媛	149	6,157	4,838	1,319	21.4	858
336-B	鳥取·岡山	96	3,075	2,748	327	10.6	10
336-C	広島	101	3,330	3,115	215	6.5	5
336-D	島根·山口	96	3,207	2,880	327	10.2	141
336	計	442	15,769	13,581	2,188	13.9	1,014
337-A	福岡·長崎	115	4,611	3,936	675	14.6	168
337-B	大分·宮崎	70	2,297	2,097	200	8.7	33
337-C	佐賀·長崎	83	3,526	2,675	851	24.1	527
337-D	鹿児島·沖縄	80	2,349	2,135	214	9.1	35
337-E	熊本	58	1,611	1,413	198	12.3	79
337	計	406	14,394	12,256	2,138	14.9	842
総計		3,183	112,080	91,695	20,385	18.2	11,312
世界のライオンズの		6.9%	8.1%	9.0%	5.7%		

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2014.3.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域	208
世界のクラブ数	46,430
世界の会員数	1,380,751
※男性会員数	1,023,061
※女性会員数	357,690
期首からの増減	33,338

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	11,897	333,894	-3,865
インド	6,266	236,056	10,376
韓国	2,075	79,810	1,553

ライオン誌日本語版出版物 注文書

ライオンズクラブ入門

クラブ運営の基礎知識

リーダーシップを養う

『ライオン誌』創刊号復刻版

ライオンズ力を高める

LCIF早分かり

ライオニズムよ永遠に

ウィ・サーブ

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jp宛てにご注文ください。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。(大口注文の場合は別便で送付)
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所(FAX:03-3546-2630)

ライオン誌日本語版出版物　注文書

- ●ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』 ……………… 部
- ●ライオンズスクール中級編『クラブ運営の基礎知識』 ……………… 部
- ●ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』 ……………… 部
- ●『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド ……………… 部
- ●『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド ……………… 部
- ●『ライオニズムよ永遠に』メルビン・ジョーンズとその時代 ……………… 部
- ●『ウィ・サーブ』日本ライオンズ半世紀の航跡 ……………… 部
- ●『ライオン誌』日本語版創刊号復刻版 ……………… 部

地区名 33 -	クラブ名	お名前(クラブで注文の場合は不要)
ご住所 〒 -		お電話番号

ライオン誌5月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可 2014年(平成26年)4月20日発行 毎月1回20日発行 定価180円 送料実費78円 第56巻第11号
発行所 ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所 〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 Tel 03-3542-9571
印刷所 凸版印刷株式会社

釜石はまゆり飲食店街

●居酒屋 茶夢●酒処 浜ちゃん●居酒屋 鬼灯●カフェ･軽食 マミー●和食 京花●咲家（SAKIYA）●スナック すずらん●居酒屋 萩●スナック クイーン●スナック ネイル●スナック ブーケ●スナック ラピュタ●BAR LINK●客恋慕●井華水●フェニックス●ムーンライト●エスパス●スナック絲繍●ヴィヴィアン●カサブランカ●大正軒●牛々 鈴子店●魚魚●居酒屋 鳥城●海舟●キッチンコリンズ●こんとき●竹寿司●そば処 もりのや

〔呑ん兵衛横丁〕

●Qちゃん●美味しんぼ●和●あすなろ●とんぼ●撫子●点々●助六●ひまわり●やす子●やっこ●笙子●向島●うさぎ●お恵

釜石はまゆり飲食店街
岩手県釜石市鈴子町14
http://hamayuri.kirara.st/index.shtml

釜石はまゆり飲食店街はLCIFの東日本大震災指定交付金を受けました